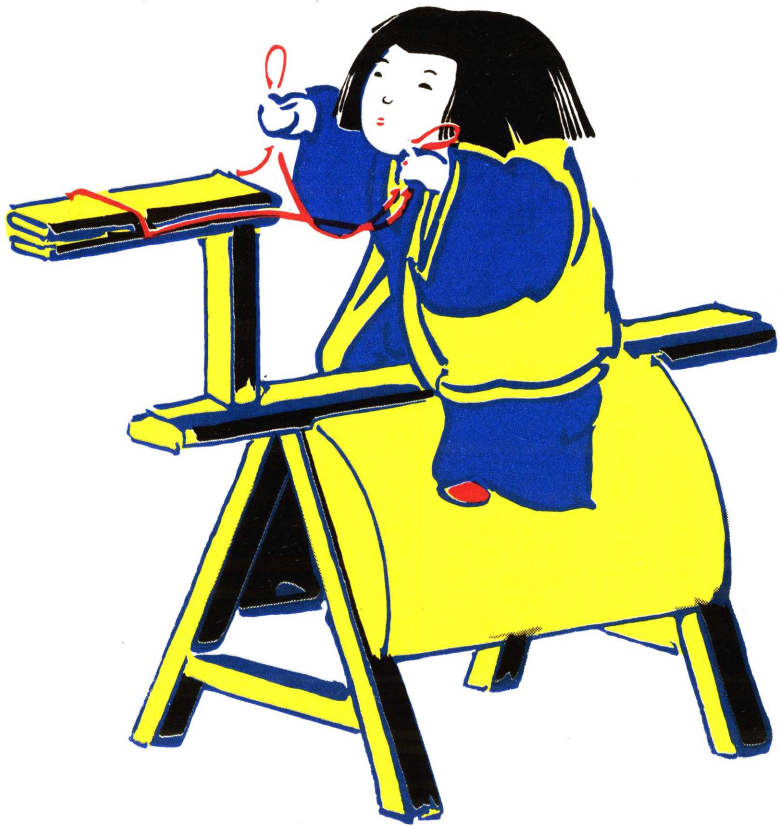


# 幼見之教育



號二十第

號月二十

卷二十四第

內校學範師等高子女京東

會協園稚幼本日

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編 (五版)

# 改訂 增補 系統的保育案の實際

定價 金壹圓參拾錢 送料 金 六 錢

初版以來廣く參考の資料せられた本書は、時局下幼兒保育の再認識を、特に國民學校の新制に對する用意の必要さから到底舊版のまゝに止まることを許されなくなりました。全體に互る改訂増補を以て茲に此の新版を供する次第であります。

日本幼稚園協會編

## 幼稚園談話集 (四版)

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

## 觀察の實際

(再版)

## 幼兒の教育 (月刊)

菊版三五〇頁 定價金壹圓五拾錢  
送 料 市 內 金 六 錢  
地方：北海道・臺灣  
樺太・朝鮮・滿洲 金 拾 五 錢

菊判一三〇頁 定價金 壹 圓

送料東京市内金六錢 其他 金 九 錢

一ヶ月 金參拾五錢 送料金一錢

一ヶ年 金四圓貳拾錢 送料共

# 生徒募集

本科 生 四十名  
託兒科 生 四十名  
研究生 若干名

願書受付三月二十日迄規則書は四錢切手  
封入の上申込まれよ。

創立以來廿九年

大正五年東京市麴町區に創立。

昭和二年武藏野の中なる現在地に新築、  
附近に森あり、野あり、川ありて四時自  
然の恩恵を受け、本校の特色とする自然  
觀察、博物採集、圖畫寫生、自然物應用  
の手工等材料豊富なり。

玉成保姆養成所

所長 有 院 良

(ソフアヤ・アラベラ・アルウ井ン)

東京市杉並區西高井戸一丁目一三三  
省線 西荻窪下車直南約五丁

△定員六〇名  
△詮衡 三月二十五日

△締切 三月二十日  
△特典 保母無試験檢定

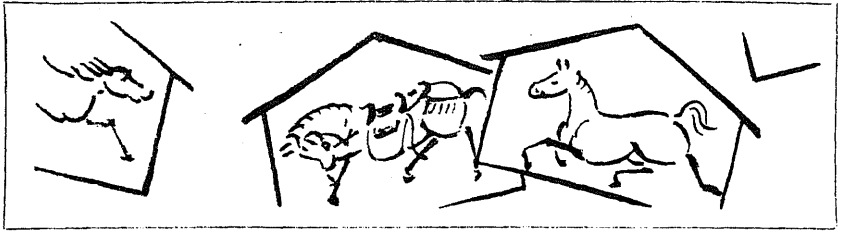
# 中野保母養成所

東京市中野區宮前町 電話中野五八七〇番

△附設の感應幼稚園にては皇紀二千六百年の祝典を記念する事業として  
割烹室を建設し、爾來全園兒二百數十名に對し榮養給食を實施して  
ますので、保母科生徒に對し正科目として榮養食の研究並實習を課し  
てゐます

△交通は省線新宿驛より五分

# 大東亞戰爭必勝完遂



## 第十四卷 幼兒教育 第二十二號

### 目次

戰時國民幼稚園(十)……………倉橋惣三(一)

一月の保育……………

生活訓練……………倉橋惣三(二)

自由遊戯……………上遠文子(三)

遊戯……………古澤靜子(五)

觀察……………清水光子(七)

談話……………安村ふさ(八)

手技……………及川ふみ(九)

誘導保育……………菊池ふじの(二)

保育界の近状を見て……………多田鐵雄(四)

教養萬葉に於て日本の感情を見る(十一)……………石井庄司(八)

戰時下に於ける幼稚園經營の實際……………田邊周子(三)

幼稚園の職域御奉公……………今原きよ(六)

各地幼稚園より名古屋市立第一幼稚園・京城愛國幼稚園……………大島紀子(三)

講習 兒童心理學(十)……………牛島義友(元)

雜錄……………(四)

幼兒の母……………(翌)

感謝に暮れる年―幼稚園から―戰時下家庭教育心得(四) (倉橋惣三)―  
 子供向きお茶(佐々木理喜子)―十二月の衛生(齋藤文雄)

# 生徒募集

明、十八年四月入學の生徒を左の通り募集いたします。  
詳しいことは入學案内にあります。

一、募集人員 一〇〇名

一、願書受付 十八年一月八日より満員次第締切、但し満員締切後の方も豫備員若干名を採ります。

一、入學詮衡 女學校の成績によつて入學を許可します。入學試験はいたしません。

一、規則請求 規則竝に入學案内御入用の方は四錢切手をそへて御請求下さい。

東京市淀橋區下落合三丁目一三八八番地

## 東京目白保姆學校

校長 和田實

電話 落合長崎二五五九番

# 戰時國民幼稚園

(十) 大國民の根を培ふ

## 倉橋惣三

この長期の戦争、この遠大の建設、これに耐へ、これを完遂するもの、要するに大國民でなければならぬ。戦時下の國民教育は、即ち大國民性の錬成である。戦時下國民幼稚園はその高適なる教育の基底を擔ふものである。

幼稚園の名に於て始められた教育に、種々の動機があつた。しかも日本の幼稚園の動機は一つ。皇國民錬成の根柢の啓培にある。その他の何ものでもない。而して、今日の皇國民は、實に日本民族が内藏し來つた大國民性を未曾有の大規模に於て、實現し實行するものでなければならぬ。國民幼稚園は幼き全國民の性格を、最初からその方向に培ひ導いてゆくことを委任せられてゐる。

大國民性の實質内容は、逐月述べ來れるところの諸點の、その渾然たる一大綜合である。それ等は個々の行動として必要であると共に、大國民性のあらはれしめて貴重せられるのである。事に當つて憂ふるも、喜ぶも、耐ゆるも、進むも、皆、大國民性によつてなくてはならぬ。時によつて適宜の態度にいづるも、不動の沈著さ雄大に一貫し、着々また悠々、百年の大計を失ふことなき、大國民性によつてなくてはならぬ。

大國民教育は、その目的の實質に於て大國民的でなければならぬと共に、その教育の進行に於ても大國民的でなければならぬ。大國民性は要するに實力の大である。眞に實力の伴はない形式的、焦慮的、速成的、間にあはせ的教育で、到底それが得られるものではない。殊に、根からの強固を缺いて、たゞに結果に急な教育によつて、決して得らるべきものでない。大國民の教育は、その教育の進行に於ても、常に、雄大と共に不動、着々と共に悠々でなければならぬのである。

幼児教育は、眞の實力をその根に於て用意するものである。時局事態の急に備ふると共に、常に、根に培ふことを忘れざるもの、教育の大國民性は、そこにこそ出發する。

(この朝、ソロモン海邊復たゝの大戦果も同方面陸軍部隊勇戦の新發表を聴く。皇軍の奮闘に對し、遠く南海の方向に向つて感謝の至念を捧ぐ。本年の巻頭の蕪辭、筆を戦果の感激に起し、筆を戦果の感激に擱く。國民幼稚園をして、この戦果に應へしめずして相濟まうや。——氷雨荒く降る新潟の宿にて)

# 一月の保育

## 生活訓練

### 倉橋惣三

新らしい一月は、大東亞戰下二度目のお正月である。第一回は、何分戰爭が始まつてすぐのこと、その真相は素より、正しい實感も、幼児等にはまだ分らなかつた。開戦第一日の大戦果は、多くのおとなにさへも、眞珠灣を地圖の上でさがさせたりした。幼児にそれが分らないのは當然であつた。或は、多くの幼稚園には、太平洋地圖が特に貼られてはゐなかつたかも知れない。そうして、いつもさへ慌しい年の暮が、多少は薄氣味悪い緊張を交へた一段の慌しさの中に、いつももなく暮れてお正月になつたのであつた。迎年の用意といつたことも、平生のやうでないのは素より、戦時下のお正月といふものを、落ちついて幼児達に待たせる、適當な心準備もなかつたかも知れない。但し、そういふ中にも、緒戦第一の素晴らしさに、感激の胸が張つて、國家的確信と、國家的希望とを、國民的喜びの上に盛り上げられて、十二月八日からつゞく幾日の昭和十六年に次いで、明るく勇ましく昭和十七年を、幼児等と迎へたことは言ふまでもない。

が、それが、こん度はどうだ。之れが自分の國のことでなく、國の計畫の嬉しい實現でなかつたら、目を拭ひ、耳を疑ふといふ、あの月並な言ひ方をもつて来るであらう急進、急襲、そうして、必勝、必利。幼稚園には大きな地圖が貼り掲げられる。新聞の切抜が貼りならべられる。今までは可愛らしい幼児の時間の音楽やお話だけを送つて来た保育室のラジオが、勇ましい軍曲に伴ふ嚴肅壮大な大本營の發表を、室一ぱいに漲らせる。月の八日毎には、小さい頭を伏せて遙拜し、小さい目を閉じて黙禱し、小さい耳を聳て、大詔の聖旨と實踐を學び、小さい口を開いて國歌と行進曲とを高唱し、斯うして、幼な心にも、時局を感じ、時局を慨し、時局の緊張を重ね來つたのである。昭和十八年の一切の生活訓練は、幼児のこの心の上に置かれなければならぬ。

正月始めて幼児に會ふ時、いつもいふオメテタウを、いつものやうに個人的な加齡の祝ひ言葉としてとなく、國民としてのオメテタウの心と響とに満たさなければならぬ。それを理屈づけるのではない、それを諭示するでもない。先生が、先づその心を以てすると共に、幼児もそれ相當に持つてゐるであらう此の心持ちに觸れてやるのである。

年齢の一つ増すことは、幼児にとつては、大きな自重感そのものである。これは、充分活用しなければならぬ。心を新たにすといふことは、古び易いおとなの心に就てのことである。幼児の心はいつだつて新らしい。たゞ一ヶ年の發達を、自重の形で一階段くぎりをつけて強く感じさせるために、お正月はよく出來てゐる



と思ふ。その意味で、生活訓練の上にも、好個のいゝくぎりづけが出来る。

自重といふと大げさのやうであるが、幼児には幼児の自重があり、それが自己訓練の大きな力になることは、おとなの場合と變りはない。たゞ、幼児の場合、その自重は傍からの認識によつて支へられる。認識せられない自重は、時に不健全ならはれなしたりする。尤も、その認識は、その自重に對して、實に於ても度に於ても、適正のものでなくてはならぬ。傍からの認識が勝ち過ぎると、おだてになり、無理強みになる。二つとも、生活訓練の禁物である。巧みな方法としては、幼児の自重の一つ下のところに認識を控へて、その残りの分を幼児自身のほんとうの自重力に餘して置くのがいゝ。先生が認めて呉れる。自分は實はそれ以上だといふところに、自ら自分を持ち上げてゆく餘地と餘力がある譯である。

自重の教育力は、自分に及ぼしてゆくところにある。それを他に及ぼさせることは、然るべく抑へなければならぬ。つまり、えはりの抑へである。えはりはいいつの場合でも原始的なものである。従つて子どもにあり易いことであるが、そういう子どもらしさは子どもにも許してはならない。そんな癖、つまりそんな、原始的な生活感情の味はひつけると、おとなになつても、子どもらしいえばりをつづけたがることになるからである。えばりは原始的であると共に、自重の不満足感からも起るものである。自尊心が起る。傍から認識して貰へぬ。自分だけで自重感を満足し得ぬ。そ

こでえはる。つまり、弱い相手を求めて、或は相手を弱いとして、辛うじて、自分の自重感を味はうとするのである。前に高く認識し過ぎてはいけぬといつたが、此の意味では、低く認識するのもよくない。適正のものでなくてはならぬと言つたのは此の加減である。

幼児の自尊心を適正に指導し得る人にして、先づ一人前の生活訓練者といへよう。お正月は保母さんにとつて、その試金石ともならう。

### 自由遊戯

#### 上遠文子

一つ御年がふえました。お雑煮を澤山戴いてうれしくお正月。圓いお顔を益々圓くして、えびす様のやうに、にこ／＼して幼稚園へ勇んでやつて來ました。

まだ／＼と／＼寒くなる今日此頃、午前中は殆んど屋内保でせう。云ふまでもなく御部屋は御庭よりも活動區域とても申しませうか、せまい事は勿論です。併し、幼児達は別に加減する事もなく、全活動力を發揮して居ります。私達、指導する者は、幼児の活動力を折りまげぬ様に、そして充分體力の練成に力める様心掛けねばなりません。又前月にも申しあげた様に、換氣衛生に特に注意せねばならぬ事を重ねて此處に記しませう。

かるた、双六、羽子つき、凧あげお正月の來るよるこびでし

た是等の遊びも、お正月の來たうれしさでやる氣持は又格別です。かるたも、よく取れる様になりました。羽子も澤山つける様になりました。凧も自分であげられる様になりましたので興味も出て来てお友達同志で面白く遊べる事です。

**雪あそび** 昨夜から降り始めた雪が今朝は大分積りました。御門の所から可愛らしい足跡が御玄關まで續いてゐます。子供は風の子雪の子です。一通りのしつかりした服装を整へてお外で雪合戦をさせよう。

毛糸で包まれた手に粉雪を山の様に揃つて喜々としてゐます。年少組では雪で兎を作つたり、紐で雪釣りをしたりして遊びませう。

年長組は大きな／＼雪だるまを作つてみませう。自分達の體よりも大きな球を一生懸命押して來ると額に汗が滲んで來る程です。

何と云つても雪の日の華は雪合戦でせう。雪の彈丸を澤山あつめて、東西兩軍に分れてその雪の彈をあてあひするのです。顔にびしやつとあつたり、足にあたり靴の中に入つたりすると、年少組では泣き出してしまふでせう。年長組はこの位は我慢する事にして顔等にはあてぬ様約束を始めにしておきます。

投げる事、走る事の終始行はれるこの遊びは全身のよい運動です。冬の寒さ等も何處かへ飛んで行つてしまふでせう、さあ、元氣を出してやつてみませう。

扱もう一度保育案を練つてみました、年少組、年長組と。しか

も、もう既に記したものはかりなので、冬の屋内保育の自由遊びを如何によく處理してゆくべきか、唯々その遊びの名稱によつて方法を考へるのも面白いですが、總合的に自由遊びを考へてみるのもどうかしらと考へてみました。幼児達は私達の保育案にも目にかけて、お友達同志で自分達の考案なる遊びを、何とも云へず面白く、何とも云へず愉快に遊んでゐます。それは私達大人よりみればつまらぬ、譯の解らぬたわいのない遊びでありませう。例へば、大狼ごっこをしてゐました、大狼の子供、人間の子供にそれ／＼別れて、大狼が山から人間の子供を食へにくるのです。その大狼は、又人間は、實に／＼眞剣で、一人／＼一生懸命にわあ／＼と遊んでゐます。又、一本の綱を圍んであちらにひつばつていつたり此方に引つばつたりして喜々としてゐます。子供の世界は夢想の世界であります。私達の想像のつかぬ所まで楽しい世界が擴がつてゐるのです。その楽しい世界を私達大人が傷つけていやしないでせうか。時々私はかう反省してみます。年少組でも、もう此頃は、お友達同志／＼遊びます。ともすれば先生は手持無沙汰になり、誰かつかまへねばと焦つてしまふ事があります。始めの中、まだ團體生活を充分上手に出来なかつた頃は先生中心だつた自由遊戯もかうして幼児中心に變ると今度は先生が入れてもらふ立場です。しかし此方は大人、時には斷られるかもしれません。

幼児の楽しい滿喫した遊びをこわさぬ様又幼児の楽しい氣分を損はぬ様、その遊びに飛込まねばならぬでせう。先生が入つて

その形が崩れた。氣分が面白くなくてやめる人も出てくる等とは、その先生は失敗と云へるでせう。むしろ傍觀の方が成功したかも知れませぬ。自己意識を捨て、無我の世界に入りうる時こそ幼児のよき遊び相手であり友達であるのだと、反省し一考してみました。

## 遊 戯

### 古澤 靜子

一つお年が大きくなつた自覺と喜びのこの時を機會に、お遊戯をする態度、見る態度、聴く態度をつくりませう。或時は一齊に、或る時は男兒女兒別に、或ひは脊丈の順に分れて、他の方なちつと見るなもいたしたいと思ひます。

寒い時でありますから、軽い運動のものから次第に複雑なものへ、そして成るべく運動量の多いものを選ぶことにいたします。

今月は、新しい年をむかへ、日本の子供であるよろこびを一層感じたこの時、お國のしるしである「日本の旗日の丸の旗」、春場所で男兒の血を湧かせる「お角力」、冬の寒空から落ちてくる「雪」、元氣で可愛い「オサル」の遊戯を取上げてみました。

日本の旗日の丸の旗 日本幼稚園協會發行幼稚園唱歌選集所載隊形。全生連手して圓形をつくる。

「日本の旗日の丸の旗」

全生連手して圓周上を右に歩く。日の丸の旗が圓形の中心に高

く聳へつてゐるものとして、左上を眺めながら歩く。

「高くてよ高くてよ」

手を離して圓心を向き、二呼間に一拍手と一ホップを行ひ、それを左右の足交互に四回行ふ。元氣よくホップでとぶ。

「朝日の色を赤くそめて」

再び連手して圓周上を左に歩く。始めと同様圓心にある日の丸の旗を仰ぎながら。

「明るい空にひら〜と」

「高くてよ」と同じ動作。

「輝く光日の丸の旗」

兩手を上にぐつと伸ばし、足踏みしながら左右に動かす。日の丸の旗が朝日をうけて、はた〜と聳へつてゐる様に、胸を張り空を見上げながら、思ひ切り兩手を左右に動かす。

「日本の旗日の丸の旗」

「日本の旗」で、拍手をしながら圓心に進み、

「日の丸の旗」の時に、同様拍手をしながら後退する。

「高くてよ高くてよ」

二呼間に一回拍手と共にホップをしながら（ホップは左右の足交互に、四回する事になる）各自のまわりを一廻りする。最後の「たてよ」の時に止まつて、兩手を一度下ろして萬歳をする。この遊

戯に於ては、日の丸の様に、特に綺麗な圓形であるよう注意したい。連手して圓形を作る場合、橢圓形になつたり、圓に凸凹が出来て亂れがちであるから、つないだ手を伸ばし、姿勢をよくして、

體は、行く方向をむく様にして、最初はこの歩き方だけを取扱つてみる。

ホップの際には、上げた脚は、成るべく直角に曲げ、一方の足で元氣よく高くとび上ることにする。

### オサル 繪本唱歌冬の巻所載

二拍子で輕快な動作のものである。

隊形。全生連手して圓形を作る。

「おさるの子どもは鬼(こつこつ)」

全生連手し、圓周に沿つて右へ、スキップで進む。この動作も、圓形がくづれない様に、各自手を伸ばしてつなぎ、行く方向をむいて、ピアノに合わせてスキップをする。

「枝から枝へとびまわる」

同じく左へスキップで進む。

「おさるの母さんひなたぼつこ」

全生圓内をむき、お互に隣りの肩に両手をかけて、圓心に進む。

「こつくりこつくり居眠りよ」

各自兩手をはずして胸前で交叉し、その場にしゃがんで二呼間に一回づ、首を左右に振る。

ユキ 繪本唱歌冬の巻所載

二拍子で何時もかけ廻る元氣な動作。

隊形。圓形で行ふ。

「大雪小雪ゆき(こんこん)」

全生圓周に沿つて右を向き、跣足をしながら落ちてくる雪を受け

る様に、體前に兩手を伸ばして左右交互に上下に動かす。

「お屋根も」

圓内を向き、跣足をして圓心に進みながら、三角のお屋根が出来る様に、左右の手を横から斜上にあげ、兩手の指先を突き合せて三角にする。

「お庭も」

跣足でもこの圓形に後退しながら、三角のお屋根の手を再び左右に開いて横に伸ばす。

「雪(こんこん)」

その場で跣足をしながら、兩手を上にあげ、兩掌をちら／＼振りながら上から下へおろす。

「雀のお宿も」

雀の羽の様に、兩手を横にひろげて軽く上下に振りながら跣足で自分のまわりを一廻りする。

「雪(こんこん)」

先と同じ様に、又その場で跣足をしながら兩手を上にあげ、雪が降る様に兩掌をちら／＼振りながら上から下におろす。

角力 日本幼稚園協會發行最新作曲幼稚園唱歌集所載

隊形。適當な間隔をおいて二組に分れて向き合ひ、真中に土俵を書き、兩組より一人づ、出て来て、曲に合はせながら、お角力をとる。

「一小節——二小節」兩組より一名づ、威勢よく歩きながら土俵上に現れる。

「三小節——四小節」二人向き合ひ、兩手を兩股にのせて、元氣よく四股を踏む。

「五小節——八小節」兩方組み合つて、押し合ふ。

「九小節——十小節」兩手をつなぎ、スキップで廻る。

「十一小節——十二小節」又向き合つて押し合ひをする隊形になり、始めの四呼間前進、次の四呼間後退で、交互に前進後退する。

「十三小節——十四小節」最初の様に、二組に分れて、元の位置へ戻る。

## 観 察

### 清 水 光 子

家具調度 寒い日が多くなるとどうしてもおへや遊びが多くなる。寒さに負けずに出来るだけ戸外へ連れ出すやうにするのだけだ。しかし一方落付いた室内遊びを樂しむにはまことにいゝ頃であり、又今まで氣のつかなかつたおへやのものにしつとりとした親しみをもつ機會で、そういうたものを殊更觀察らしくなく取扱つてみたいと思ふ。例へば銘々たんす(幼児のもの)、戸棚、机、椅子、衝立、ピアノ、オルガン等、そしてこれを通して銘々の家にある家具のことを話したりなどする。自由畫におへやの中をかいてみるのもよいし、製作としてあき箱におへやをつくつて遊ぶのもよい、子ども達の抽斗と先生の抽斗とのちがひをみたり(形や大きさ、ひき手など)机や椅子の高さを較べてみたりするの

も面白い。もつと段々みてゆくなら種々な手近で面白い觀察が出来るし同時に机の上にのらないとか椅子の取扱ひ方抽斗の整理整頓などの訓練をする事も出来るであらう。

こよみや額なども室にあるもの、一つとしてみてゆく。日めくりのこよみなら毎日めくるとお歸りの時なり朝なりきめてすることの一つにしてもよい。この頃は少しづつ字への興味が盛になる頃であるから簡単なこよみを合同で繪を入れたりして作るのも年の始めの仕事として面白い。曜日の順ももう判つてもよい頃ではないだらうか。この他に室のものとして時計とか寒暖計とか何かの表のやうなものも機會を捉へて教へるといふ風でなく一しよにみるといふやうにしてみせるやうにし度い。

店のいろ／＼誘導保育で紙箱の家をこしらへるについてなされる觀察である。この頃のやうに物資が配給制度になると大分店の形がちがつて来たし、様子もちがつて来た。いつも時と處に即應して、出来れば銘々のこしらへる家をみに行つたりし度いものである。保母の方がかへつて知らずにあるやうなこともある位に子ども達はみてゐる。店を作り乍らぜんなものを買つてゐて、ぜんな風になつてゐるか話し合ひ、わからない處は「よくみて來ませうね」と言つてたしかめる。店のいろ／＼などいふ繪本は參考としてならみるのもよいであらう。なるべく子供達のみるやうな子ども達の町の、村の、お店を對象にし度い。

寒 一年中で一番今が寒い時だといふことを知らせ、話す機會は多い此頃である。朝お庭中まつ白な霜、土のやはらかかつた所

に立つ霜柱に長いのは五種も七種もある、防火用水に池にはりつめた厚い氷、子ども達はつめたいよりも面白さで、お菓子やこつこがはじまつたりする。暖い地方でも、はくいきが白い煙のやうになる日はあるだらう。子ども達にとつてはつめたい水もつ

ららも霜柱もいゝおそび材料であり、いゝ觀察材料であるのだからただ禁止するばかりでなくて、注意して遊ばせ乍ら指導し度いものである。いつか口の少しせばまつたために氷がはつた。上のところがそっくり外れたのでその形のまゝ出さうとして子どもも同志大へん苦心した。その大ぜいのさわぎを倉橋先生が御らんになつて、加勢して下さつてうまくとり出して大喜びの歡聲を上げたことがあつた、又その氷の表面がでこぼこなのが問題になり、どうしてかといろ／＼考へたらしかつたが結局疑問であり、私も亦解決は興へなかつた。その氷を水のしたゝる蛇口に置いたら穴があいて大變面白かつたことであつた。大寒でも何でも子どもは風の子で元氣なので暖いのであるからこんな寒くてもこんなに元氣だといふ喜びを子ども乍らに感じさせるやうに遊ばせ度いものだと思ふ。

談話

安村ふさ

「二重橋のお話」 大東亞戦下に再度迎へる新年。上御一人の大稜威の下、勇士の方々の奮戦により、かくも赫々たる戦勝の中に

迎へられる新年。然も昨年のそれよりは大東亞建設の響き高きこの年——心は愈々おほらかに朗けく、愈々つゝましく引しまるのを覺える。

大君まします都に住む者にとつて、新年のはじめに謹み行ふ事は二重橋前に於ける宮城の遙拜である。爽々しい新年の朝早く、瑞雲たなびく大内山の前に、新しい年のよき祈言を申上げて寶祚の無窮を祈りまつる時、私達は日本人とこの聖代に生れた喜びを、ありがたさをひし／＼と感ずる。此の敬虔なる感激、それは上代から私達祖先の血の中に脈々として傳つて來たものである。私達はこの敬虔なる感激を幼兒等に傳承しなければならぬ。私達はあの御前にぬかづいた時の敬虔な感激を、敬虔な態度、言葉で幼兒等に語らう。幼兒等は私達日本人たるのありがたさを、喜びを其の中から感得してくれる事であらう。都に住む幼兒等は必ずや二重橋の御前にその父母達と共にぬかづいたものであらうから。

扱地方に於ける幼兒等の場合はどうであらうか、彼等は新聞等に謹載してある御寫眞で腰く拜する機会があるのであるが、或ひは幼い故に淡く心に留つてゐるものもあらう。で、此の新年に當つて特に、大君まします宮居であること、この御前に明けき心でぬかづく事が日本人として最高の喜びである事を感じしめたいと思ふ。それには童話にでも仕組んで話すのも一方法かと思はれる。例へば、こどもが兩親と遙拜に赴く事を骨子とし、語りたいたいことを、親子の對話にでもして言葉に注意しつゝ盛りたいたいと思ふ。

尙「國旗」についてであるが、之は四月のはじめに話した事であ

り、幼児等はよく自由畫に描き充分感得してゐる様であるが、かうした新年の改つた機會にやはり童話等にでも仕組んで、我が日の丸は、明るき、清き、直き心を象徴してゐて、國家的に意義のある時に掲げられる所以を充分悟らせ、併せて形態に關する正しい觀念も與へたいと思ふ。

「幼児演出七匹の小山羊」 系統的保育案の實際によれば六月の半ばに談話で、十月の末に人形芝居で幼児に大分親しくなつてゐる七匹の子山羊、此の度は幼児の演出である。元來幼児は話よりも動作のついたものの方を喜ぶ事勿論であるが、今まで單に聞き、見てゐたものも自分達が演出する事によつてその話の面白さも充分に分る様になると思ふ。幼児演出は保育案によれば此一つであるが必ずしも此に限らない事は勿論である。たと劇的要素に富み、或程度話の性格を幼児等が擷んでゐるものを選ぶ事が必要である。はじめは保姆が中心になり、主役を受持つて演ずるのである。ことばも注意して選び簡潔なものを用ひる。背景や道具等もあればよいのであらうが、何ものでもすぐそのものにみだてる幼児にはその爲に特別に作らなくても充分に遊べる様である。私の受持つてゐる年長組の女兒十一人はよくまとまつて遊ぶが、年少組のこの頃に七匹の子山羊を保姆が中心になつて數回演じたが、ことばのはしく、動作までよく覚えて居り、一年後の今日でも折にふれ時に應じて演じてゐる。衆議一決すれば保育室であらうと園庭の一隅であらうとたちどころに開演といふ有様である。幼児等の憧れの役は、食べられない子山羊と親山羊。嫌ふのは

狼。道具としてはストープは二人の子が手をつないで丸くし煙突は其の傍においてある椅子の上に一人が立ち、時計は扉の把手である、と例へばその様にその場々で忽ち揃つてしまふ。之を演じたのがきつかけになり、此の頃では舌切雀、一寸法師、三匹の子豚等、練習もなしに直ちに開演出来る有様である。時には一日でも愉快げに遊び私まで時の經つのも忘れて視覽してしまふ事がある。室内に於ける遊びが多くなる此の頃、適當に組を作つて演じさせ、互ひに見物するのも又愉快であらうと思ふ。

## 手 技

及川 ふみ

寒い季節の保育は、室内保育に一日の大部分を過す様に餘蘊なくされる日が多い。こんな時には又おちついて、幼児たちにさせる遊びや仕事を數多く考へておいて、外遊びの多い季節に出來がたいところの補ひをするといふ事も考へられる事である。

模様かき(一) 幼児たちに、自然の遊びのうちに、數の觀念を進める上に、又觀察のよい機會を作る爲にも模様かきの面白い遊びが出来る。

これをこゝろみ初めたのは十一月のはじめの頃、園庭に、いてふ、つた、どんぐりなどの澤山おちてゐる季節であつた。

拾つた葉をおしておいて、お帖面にはつて遊んだり、つたの葉柄では毎日、龜を作つて遊んだものであつた。とりわけいてふ

の葉は實に恰好がよく色も美しかつたのでそのまゝでも、よい模様であつた。幼児たちはいてふの葉を畫用紙の上にのせてその恰好のよいところをそのまゝ寫してゐた。こんなところから模様をかゝせるよい機會である。次の様なことを二三こゝろみてみた。

模様の材料は初めは平面の形のものが幼児たちには入りやすい様である。いてふの葉を畫用紙の上に平にのせて、片手でおさへながらその周圍の形をとるのである。模様は模様の一つの單位をつくつておいて、これを種々の形にならべて一つの模様をつくるのであるから、その單位になるところの模様の形や大きさは略々同じ位のものでなくてはならないのであるから單位になる模様の形を一つきめてそれを次々と寫してゆくのである。

模様をかゝせる事は時々保育の中にとゞらみられてゐる様ではあるが、模様といふものについて考へ、又これと同時にこれら幼児たちに如何に取扱つてゆくべきかを考へて實際に幼児たちにさせられてゐるのであらうか。たゞ「どんな様でもよいからこれで模様をかきませう」と保母の方で不用意にはじけると幼児たちでもまかせに作つて模様も亂雜になり、塗る色もまどまらないで、極めて幼稚なものになり易いものである。

模様をかゝせる時には保母の方で一通り模様についての考へをもつてゐて、ごく最初は少しは指導的態度をとつてやられた方がよい様である。

大體模様にはその單位の配列によつていろいろの様式があるのであるが、そんなむづかしい事はしばらくおいて、日常幼児たち

の幼稚園生活の實際の場合に得られるものについて考へさせて見るとよい。

先づ手近いところでは遊戯をする時の幼児たちの態形から考へさせて見た。一列にならんで、圓形を作る事は毎日の様に繰り返してゐるのである。

先づ第一にいてふの葉を葉柄の方を前にして一枚一枚順々に圓くなるやうに列べて形をどらせてみた。大體こんな形のものである事を實物を列べて見てその感じがとれてから一枚の葉を形どらせて次々と同じ葉の形をどらせてみた。入ツ切の畫用紙に實物大のいてふ(中位の大きさのもの)の葉が入枚で丸く圍める様になつた。丁度これは圖案の方でいふ圍み模様になつたわけである。お皿の模様や、丸い箱の蓋の模様として幼児らしさのよい味の出たものが出來た。この時幼児自身で中央にぎんなんの實を一つ畫きこむ事を考へ出したのでそのまゝかゝせてみた。一度の仕事の分量としてはこれで充分であつたのであるがよほど興味が出て來たと見えて續けて色をぬり出した。丁度その時のいてふの葉の色が一枚が眞黄色で、一枚が縁がみどり色がのこつてゐたのでその二枚の色のちがつたものを交互にぬらせた。その翌日地色を自分で考へて赤くした。美しい模様が出來上つた。おまゝごと遊びの美しいお盆にこしらへてもよい様であつた。

又一人には同じいてふの葉を二列の縦隊になる様にならばさせてみた。二枚づゝ揃へて列べて見ると丁度これは帯模様になるのである。圍み模様を畫いたのと同様に一枚の葉を次々と形どらせ



て作らせた。丁度二枚づゝ四つで八枚かけた。葉の色も地色も幼児が一人で考へてぬつたのであるが、黄色い葉とみどりの葉と二色を交互にぬつて、地色は褐色にしたところおちついたよい感じであつた。

次に二枚のいてふの葉を葉柄のところを組み合せて、蝶々の様な形において見せた。これは御遊戯の時に二人づゝ幼児たちが手をつないで歩いてゐる形からとつた。一組を上向におき、一組を下向においてみた。この上向、下向の蝶々を適當に案配すると丁度簡単な四方連続模様になるわけである。黄色のいてふの葉に、もゝ色の地色で可愛らしい。着替へ人形の着物に丁度よいものが出来上つた。

こんな仕事をしてゐると、いつもたゞ深山おちてゐるいてふの葉をばんやり拾ひあつめてゐたときよりも、形の上にも、色の上にも観察が細かく出来て、模様につくる時にその観察が直ぐに間にあつて仕事の上にはあらはれて来るのである。又数の事なども實際についてはつきりと數へなければならなくなつてきて精確になつて来る。

又模様材料についても幼児自身でいろ／＼と考へて材料になりそうな實物を探し出す様になる。

いてふで模様を作つてゐるうちに誰かどんぐりの模様がよいと云ひ出した。もう少し時期がおそいかとも考へたが折角云ひ出したのであるから次の人の材料にもと考へて數人の幼児とどんぐりを拾ひに出かけた。細長いどんぐりが二三十個もおちてゐた。

お猪口もあり葉もおちてゐた。よい獲物をもつて幼稚園にかへつて来た。どんぐりの模様についてはこの次の時に書き残すこと、して、たゞ今はいてふの材料でもない季節である。

たゞその時にある材料をどらへて、その材料の取扱ひ方の一端を御紹介するまでであるのである。お正月に手に入りやすい材料にどんなものがあるであらうか。幼児たちに親しみやすいものの中から見つけ出すことも一つのおもひつきではなからうか。

### 誘導保育

#### 菊池ふじの

お正月 お正月に家庭の中で行はれたであらう行事——例へば門松のこと、部屋々々の飾り、注連繩、神棚のお飾りのことなど——。いつたであらう處——例へば宮城前に頼づいたこと、元朝詣りのこと、親類縁者訪問のことなど、又お正月、みんなで遊んだであらう事共——双六、歌留多、羽根つき、トランプ、福笑ひ、ゲーム遊び等についてこちらが聞いてあげる。子供はお休みの面白かつたこと、嬉しかつたことを話し度くて仕方がないのであるからそれを上手に聞いて上げる、かう言ふといふ容易なやうであるが、誰にでも言ひ度いだけを言はせる、そして誰もが飽きないで靜肅に聞く、それも長い期間にはではなく、お正月のほとぼりの冷めない第三學期始業一週位の間の中で、と考へると、その實際的具體的方法はなかに六ヶ敷い。さうしたら徹底出

来るかと考へて見るけれども、案も無く、遂、話し度い人だけに話させて見たり、聞き度い人だけで聞いたり、といふ風になつてしまつてゐる。

期待効果が何々、繼續時間が何々と保育案には出てゐるけれども、このお正月のことを話し合ふだけな誘導保育とは言ひ難い。たとこの週一週間は、どの仕事にも、お話にも、遊びにも、お正月のことが盛られてゐる、と言ふよりは、子供の全生活のどの部分にもお正月の氣分が満ち々々であるので、それをあえなく葬らぬやう。幼児達の親しんで呉れる先生ともう少し長く幼稚園でのお正月を楽しむやうといふ氣持が含まれてゐることゝ思はなければならぬ。

**紙箱の家** 紙箱の家は前からよく作られた。幼稚園の作業として、製作が容易である事、子供の興味がある事、材料の入手が容易であること等が原因であらう。今の時代のやうに物資を出来るだけ節約しなければならぬ時世になつても、まだ、各幼児に空箱の一つ位持つて來させる事は無理なことではあるまいと思ふ。

扱てみんが思ひ思ひの箱を持つて來たら、その箱の恰好と、子供の希望を聞いて、適當な店をその子供と協議の上で決める。例へば丸い帽子の空箱の人にはテバートな、四角な高さの高い箱の人にはビルディングなといふやうに。この店の種類を前から通して見てゐると、實に世の中が子供心に映じてゐることが分る。

子供は社會に敏感であるといふことの實に、證據になると思ふのである。今年の紙箱の街には多分何々配給所といふやうなのが

現はれるであらう。

製作に際しては、窓を切り抜くとか棚をつける、陳列臺を置くなどゝいふ事は、全然子供獨りでといふことは大抵の幼児には出來ないであらうから、どうしても先生と幼児との協同製作にしなければならぬ。相當手傳つてしまつて、どうかと思ふぐらゐでも、子供は一向平氣なもので、どの子もどの子も全部自分が發表した積りでゐる。それでいゝのである。手傳はれることによつて、自分の表現欲求が充分に満足させられるのである。

又、そういふ事は繊細にするには手も足りないし、繊細にすべきでもない。大まかに貼りつけてもよい。縫ひつけてもよい。材料にしてもごく大まかに材料も混淆主義でいき度い。こゝで注意しなければならぬと思ふのは、先生と子供と一回だけ熱心に協同製作をしてしまつて、もうそれで完全だと打ち切つてしまふ傾向になり勝ちであるが、子供はそれですつかり出來た積りでゐても仕方がないが、保母は各自の作業進度を胸に置いて、丹念に持續繼續させて或る程度緻密にし、餘りにもお座なりな製作に終つてしまはないやうに導き度いし、保母自身の心の中に、それだけの興味性、創造性をいつまでも持ち續けてゐたいといふことである。こゝでも熱意のある保母、創造性の豊かな保母といふことが、又しても希はれるのである。

それから、この主題に於ては、製作後の、陳列といふことが重要な事柄である。製作後では遅過ぎる。製作中、家の店の様子が大體ついたらもう陳列しておく。街らしく竝べて置けるやうに保

育室の中の調度を鹽梅する。或はまだ何もしてゐない箱を、大體出來て街らしく並べた間へ置くことによつて、或時はその店の暗示されることも尠くはない。並べることである。街らしく並べてやることである。

この主題の期待効果は、社會生活の興味喚起と觀察である。その子にとつて又先生にとつて、作らうとする店の觀察がはつきりしない時には、仕事半ばでもいいから、子供と一緒に見に行く。期待効果の三は製作。つまり手技としての効果や、又創作性のめざめといふやうな處にあると思ふ。

繼續作業時間は、大いに馬力をかけて、組の全部の子供が完成してしまふには少くとも三週間は必要であらう。

節分 時局下の節分、物資節約時の節分。從來大豆、南京豆、ホール等をふんだんに用ゐてゐた代りに、新聞粘土のお豆を作りませう。お三寶とかお面、もつと念入りには袴といふやうなもの製作資材も、そここゝに轉つてゐる厚紙、包み紙を念入りに注意して見れば、これ位の製作に要する物資はまだ、身の廻りにころがつてゐる。それを利用すること。また、今年、豊かな例年に劣らない豆撒きが出来る筈。そして身に迫る惡疫を退治して、この一年も健康に益々ハリ切らう。この主題の期待効果は、年中行事の興味と製作。繼續時間は二日間位。豆撒きがすんだらあとはさつぱりとおしまひ。

大東亞戰爭が始まつて正に一年。この一ヶ年は、誠に國運を賭しての、絶大なる意義に満ち満ちた一ヶ年であつた。

去年のけふ、朝の、大本營發表のあのニュースを聞いて、國を案ずる異常なる興奮と緊張とに胸をふるはせて登壇した。

「日本とアメリカと戰爭が始まつたんだよ」と、元氣な聲で言つて保育室へは入つて來た子供達。子供ながらに緊張してゐたことは争へない。

宣戰の御詔書が下つた。拜誦して、御宸襟の程を恐察申上げ、感激の涙の流れるのを如何とも出来なかつた。そして女ながらに血湧き肉躍るのを止め難かつた。

やがて報じ來たハッイ攻撃、マレー上陸の第一の捷報

に、子供等と、同僚達と相擁して喜んだあの日の感激と緊張とそして覺悟とは、終生忘れられないし、又忘れてはならない。

爾來一年。この幼児達を、天皇陛下の御橋として、國土防衛の第一の戰士として如何に育つべきか、といふ考は、吾等保育人の頭から片時も離れない。保育界は皆眞摯なる愛國の熱情を傾けてこの問題の簡明につとめた。各保育會の研究發表、協議題、談話題等何れも適切なる今時局に即した主題でないものはなかつた。

多事なりしこの一年も將に暮れやうとしてゐる。來るべき戰爭第二年に於ても、渾身の勇を振つて、吾等の職域、保育道への精進に精根を傾けなければならぬと思ふ。

皆様の御自重を切望して撰筆する。(十二月八日、編輯部)

# 保育界の近状を見て

一四

文部省總務局調査課 多田鐵雄

大東亞戰爭が初まつてこゝに一年、この一年が幼児保育界

に與へた影響も又尠くない。國民學校令の制定と並んで、從來の保育を反省する機運が醸成されて來たのは事實であるが、中央の指導の積極性を缺いてゐたことも手傳つて、何か未だ食ひ足りないものが隨處で感じられたものである。然るに大東亞戰爭は中央の指導を俟つまでもなく、現實に各幼稚園を、各保育施設を、各保育者を、米英撃滅を期して戦ひ抜くための要請の前に直面させたのである。この劃期的な一年を通じて見、且感じたことを二三述べて見よう。

何き云つてもこの大東亞戰爭が與へてくれた一番有難いことは、國民としての自覺日本人としての自覺を今更に促されたことであつた。米英依存の夢の殘滓を棄て切れなかつた一部のものも、こゝに至つて決然と立直つた。基督教保育聯盟が從來の傳道第一主義の傾向を反省して「日本國民の保育」を目標の第一に据えたことも、當然のことは云

へ、従前に在つては敢行し切れぬ事柄であつたらう。

皇國民鍊成、ひらたく云へば幼児を將來皇國に生命を捧げ得る人物に保育する云ふ心構へを持たぬ保育者は一人も居ない。又平時と違つて戰爭時こそかゝる保育をするに惠まれた状態、環境を持ち得るのである。その意味に於て戰爭自體が保育に取つて實は極めて有難いことである。然しそれにも拘らず我々は未だ皇國民鍊成の基礎としての保育の現狀に關して氣懸りなのである。前線の人々は生命を投げ出して戦つてゐるやうに、銃後も國を擧げて總力戰に參與してゐる云ふ。一人の國民も國を思はないものはない云ふ。がそれならば巷間傳へられる如き闇取引が存在するわけはなく、歡樂街の現在のやうな盛況が見られるわけはないのである。我々はいささか云ふ時には日本精神の本心に立返るにしても、未だくゞ全心全靈は忠誠と云つたやうな境地に及ばざるこゝ遠いのであるまいか。而も保育者の精神、心情が理屈なしにそのまゝ幼児の心に移り、幼

兒のものになつて行く事實を考へるべき、あまりにも高い要求であることは重々承知しつゝも、我々は保育者自身が努力すべきことを要求せざるを得ないのである。數年前から神様のおはなしを初め古事記の話、楠正成の話等が大いに注目されて來てゐるが、問題は話の内容でなく、話す者自身の態度、心情である。時局に即した行事、談話等は何處でも適切に取扱つてゐるやうに見受けられるが、こゝで留意せねばならぬことは、戰爭の諸影響に依つて生ずる荒んだ風潮に對し、幼兒を保護指導するに云ふことである。

それは戰爭に對し、等々止めさせよと云ふことでは萬々ない。某幼稚園で買物遊びをしてゐた。一人の保姆が仲間入をして「先生にも一つ下さいな」と云つたところ、「まあ先生ですか、よくいらつしやつて下さいました。さうぞ裏の方へお廻り下さい。先生がお出でになるかと思つて賣らずに特別に隠して藏つて置きましたよ」と答へた幼兒があつたこの事である。これは單に一例に過ぎぬが、このやうな戦時下生活の裏面でも云ふべきところに、即ち大人の一種の悪がはびこるところに幼兒に與へる悪影響として寒心すべきものが多々あるを考へられ、これが道義心の芽生へを荒ませることになるのである。農村に於ける買出し部隊の村民に與へる影響も見逃すことの出来ぬ一事である。儲け

ながら都人士に對し募らせてゐる反感は決して幼兒に取つて無關係ではない。かうした社會事象を保育者は十分に睨んで行かねばならぬと思はれる。

資材の不足、物資の不足は保育を一段と困難ならしめてゐるが、こゝではそれを工夫によつて凌いで行かねばならぬことが痛感された。その意味に於て某縣の保育會が廢物利用を保育研究題の一つに選んだことは適切なことであつたこと云へる。某保育所の保姆がその給食の副食物が毎日、カブ、白菜、燒のりばかりになつて幼兒が飽きてしまつた時、昨日と今日はおかづが違ひますよ、昨日はカブ、白菜、燒のり、今日は白菜、燒のりさかづ、明日は今度は……と云つた工合にして幼兒の興味をそこにそらせつゝ、樂しく喰べさせることが出來た經驗談は、ちよつとした機智すらがこれだけの効果を擧げ得るのださつく／＼知らされたことである。某地方の或幼稚園は廣い庭を持つてゐたが、保育室が足りないで年少組と年長組を一緒に保育し、出來るだけ戶外を利用するのことであつた。然しよく見れば幼兒三十人位は充分收容出來る部屋が職員室にして獨占されてゐる。大體、幼稚園の職員室は居ながらにして保育室をも庭をも見透せるのが理想ではあるまいか。して見ればその一番大きい保育室の一隅を木柵か何かで仕切り、これを職員室に宛てれば、年少組の保育室が出來るのでは

あるまいかを考へられた。

種々の不足、不便を工夫によつて凌いで行く一方、現在の保育者は、國家の幼兒を保育する重責を顧み、現在の不合理を排除すべく積極的に働き、同志協力して邁進すべき秋を考へられる。先般某縣の國民學校附屬幼稚園を見た時、その國民學校は縣下有數の優秀校で、特別教室を初め、耕作園等の施設が充分に整備し、修養室を二つも持ち、レントゲン室も在つて結核の早期發見に備へ、更に數學級の養護學級を編成して、その全員及び普通學級の内の弱質兒童に給食をさへ施行してゐたのである。そこで六組を持つ附屬幼稚園の方を見るに、遊び場は一部が耕作園に取り残つて居り、二百何人の幼兒は目白押に狭い庭に押込められてゐた。レントゲンによる診察は聞けば幼稚園の方では行はぬもの、給食は聞けば之も幼稚園の方へまでは手が届かぬもの、理由で行はれてゐないもの、こゝであつた。若し形式的な完備を誇るならば、先づ注目される國民學校を優先するのは當然であるが、眞に幼兒兒童の保健を考へてのこゝであれば、結核豫防處置、偏食矯正、榮養給食等がこゝで先づ手始められねばならぬかは之も衆知のこゝであつて、かゝる不合理に對しては保育者は飽くまで戦ふべきを考へるものである。又某縣では、何故に幼稚園は顧られず、託兒所のみが強力に支持されるのかを云ふ間に對して、

市町村議員の考へに左右されるからであり、彼等の考へは、幼稚園を後援し、之を幾つか設置したり、育成したりしても何等、彼等の功績にはならぬ、然るに社會事業の方に手を染めれば、數年も之を行へば、或は表彰され、或は功績者として稱へられ、爾後の選舉にも有利だから云ふ理由に過ぎぬもの、答へであつた。我々は名を追ふものに非ず、然し飽くまでも實を求めて行かねばならぬと思はれる。至誠以て石を動かすの熱意こそ、現下の保育者に望ましいところである。

戦時下國家總力を擧げて事に當る時、人手の不足化は當然であり、保育の持つ教育、保護の二機能の内、後者の要求される度合も増大して來た。それと共に保育時間の延長が問題となり、大阪市では率先して九月二十一日から保育時間の延長を實施してゐる。然しこれは我々が機會ある毎に繰返し述べてゐる通り、しかく機械的に、形式的に實施して濟むものではない。現に大阪市に於ても幼稚園分布の狀況からして、かゝる一律的處置が必ずしも當を得るないことの實證が次々示されて來てゐる。その反面、たゞ從來のいきたりをそのままに半日保育で事足りりゝ爲してゐる地方もあり、要は現實の事態を深く考察して土地に即した處置を取るべきであらう。

概して幼稚園が託兒所に化して活氣の乏しい地方が多い

のは、幼稚園がその周囲の社會を遊離してゐる場合もか、幼稚園が小さく自らの殻の中に閉籠つて自分の園だけでは少くとも一生懸命、且つよくやつてゐることを云ふだけで満足してゐる場合もか、多くその原因となつてゐることは思はれる。

保育法の研究について、或は講習會、或は研究會等によつて保育者が努力してゐることは喜ばしい。そしてその成果に見るべきものも多い。然し比較的參觀に云ふことが、時間に見まれない所爲でもあらう、少なすぎるやうに思はれる。保育は極めて實際的なものであつて、話だけ聞けば大層結構なことも、さて自らそれを實施して見るに色々な喰違ひが出来ても來、又その園にはさうもしつくり合はないと云ふ場合が往々出て來る。そして元來幼稚園はその環境、構成、幼兒の種類等が極めて多岐にわたるものであるから、常にその實際に即して考へ、取扱はねばならぬのであつて、その點から云つて參觀こそ、實に唯一の生きた手本であり、かく實際に即して眺めてこそ、初めてそれを如何に自分のところで採り入れたらよいかと云ふことがはつきりするのではないかと思はれる。我々はお互にもつともつと參觀の時間を持つやうに工夫し、努力すべきものも考へる。

東京市に於て公立幼稚園が東京市教育研究會幼稚園保育部の名の下に協同研究を進め、着々成績を擧げて行つて

ゐることは慶賀に堪へない。元來、全國の保育界は結束を緊密にして互に長短を補ひ合ひ、且つ社會に對して保育事業の重要性の認識を深めさせるべく活動せねばならぬはずのものであるが、首都たる東京の保育界が残念ながら纏りがわるかつた爲に未だ全國的統一に至らないでゐるものである。東京市の公立幼稚園を實際に管理指導する國民學校長の内にも、從來は往々にして保育に對する認識の不足の人々が存在してゐたやうに見受けられたのであつたが、この都會の成長はこの方面に於ても審與する處尠くなかつたのではあるまいか。

かゝる情勢を呼應するが如く東京府學務關係官を會長、副會長に戴いて、この九月に東京府私立幼稚園協會が創設され、管内の私立幼稚園の殆んゞ凡てを會員に獲得した。仄聞するに本協會では事業の手始めとして、園長、保姆の鍊成講習を行ふ豫定のことであるが、我々をして云はしむれば、この協會が私立幼稚園の團體のみで留まる限り、その存在理由はさしたることはない。本協會が更に發展して公私立凡ての團體となり、更に之が全國的統一體の一單位となつてこそ初めて眞に我が國保育界に貢獻し得る存在となるものであらう。本協會の目標も右の點にありと聞る。幸ひに一日も實現の日の近からんことを祈るものであ

# 萬葉に於て日本的感情を見る (十二)

東京女子高等師範學校教授

石 井 庄 司

## 九、高朗健全な笑

天の岩戸の神話の中に、朗かな笑があつたやうに、わが國民性の一には高朗健全な笑の情が含まれて居るのであります。萬葉集の歌の中にも、さういふ明朗快活な感情をいくつか窺ふことが出来るのでありますが、これはつまり「わらべ心」に共通するところのものであります。

萬葉集卷十六は由縁ある歌並に雑歌となつて居りまして、この中に朗らかな笑を伴つた歌が幾首か出て居ります。なほ他の卷の歌にも澤山明るい感情の見られるのがあります。まづ卷十六から引いてみませう。

勝間田の池は我知る蓮なししか言ふ君が鬚なきがごこ  
これはある婦人の歌であります。新田部親王さいふ方が奈良平城の都にお出ましになり、そこにあつた勝間田の池を御覽になりました、深く御心になつたやうであります。さうして池からお歸りになつてから、ある婦人に「勝間

田の池を見てきたが、とても良かった。池には水が満々こ  
湛へてあつて、蓮の花が真盛りで、その美しさは譬へよう  
もなかつた」さいふ風に、しきりにお褒めになりました。

ところがその婦人は、勝間田の池の實情をよく知つて居  
りまして、勝間田の池にはほんこは蓮のないごこもよく承  
知して居りました。そこでこの歌を作りました。

大意をこつて申しますと「お話の勝間田の池には蓮はご  
ざいません。私はよく存じて居りますよ。それは、いろい  
ろのお話をなさつてゐるあなた様のお顔にお鬚のないの  
ご同様でございます」ごなります。面白い歌で、あるごこない  
ごこ、何でもかまはず話して居られた新田部親王の御眼の  
前に、事實をさらけ出し、高朗な笑が起つたごこ、思はれ  
ます。作者の模様も想見されるのであります。

次は「瘦人を嘖り笑ふ歌二首」をこして、左の歌がありま  
す。



石麻呂に吾物申す夏瘦に良しいふものぞ鰻むなぎさり召せ  
瘦すや瘦すも生やけらばあらむを將はたや將はた鰻むなぎを漁るを河に流  
るな

吉田連老むらじいふ人がありまして、字を石麻呂いひましました。この人は生れつき身體が弱くて大變瘦せてゐました。ごんなに澤山たべても肥えてきません。まるで飢ゑた人のやうであつたさ申します。そこで大伴家持は、からかつたやうなこの歌を詠みました。二首連作であります。

初めの歌の意味は、「石麻呂に私は言ひたいことがある。夏瘦にはよいさいふここであるが、鰻をこつて、せつせこ召し上りなさい」さいふのであります。今も夏の土用の丑には、鰻をたべるのであります。かういふ習慣は古くからあつたものさ考へられます。

第一首は、更に次の歌を得て一層面白くなるのであります。即ち大意は、「ごのやうに瘦せても生きて居れば、その方がよろしからうものを、やはり又鰻をさらうとて、河に入つて流されないうやうになさいさいふので、餘り瘦せて輕いので、河の水に流されるなさいふに至つては、聞く方も言ふ方も思はず笑ひ出したことこ思はれます。一度勸めておいて、またそれを危ぶむさいふこころに、この歌の生命があり、一般の讀者も笑ひ出すことこ思はれます。

同様の歌がまだ外にもあります。

法師等が鬚の剃杭馬そりくひつなぎいたくな引きを僧なからかむ  
檀越だんごやしかな言ひそね里長さとちぢらが課役えつきはたらば汝なれもなから  
かむ

前の方は、戯にお坊さんを笑つた歌で、法師の鬚の剃杭に馬をつなぎ、ひきく引つ張つたならば、お坊さんは半分になつてしまふであらうさいふ意味。「鬚の剃杭」は、無精鬚の長く伸びてゐるのをいふので、面白い譬であります。後の歌は、前の歌に對して法師等が答へる歌で「檀家方は、そんなにいふものではありません。あなた方だつて里長が來て、課役を無理に負せたならば半分になつてしまふでせう」さいふのであります。法師と檀越と互に負けじ劣らじさ勤めてゐるやうであります。

鼻の先の紅い末摘花すいぢさいいつたやうな人を嗤つた歌には、かういふのがあります。

佛ほとけ造る眞朱まをほ足らずはみづたまる池田の朝臣あそが鼻の上を穿ほれ

全く子供のやうで、無邪氣な言ひあひであります。ぬばたまの裴太ひだの大黒おほくろ見るごこに臣勢こせの小黒こくろもおもほゆるかも

この歌は、土師宿禰水通さいふ人の作であります。大舍人巨勢朝臣豊人さいふ人こ、巨勢裴太朝臣さいふ二人は、顔の黒いので有名だつたさうであります。そこで水通がい

ふには、飛彈産の大黒を見る度に巨勢小黒のことが思ひ出されることであるといふ意味であります。「大黒」は「小黒」は、主に馬の毛並のことで、馬を呼ぶ稱であります。が、それを人間にあてたところが面白いのであります。

かういふ具合な歌を見て行きますと、まことにのさかな感がいたします。これは卷十六といふ特殊の作であります。しかし他の卷にも、かういふことが見られるのであります。卷二にある持統天皇と志斐姫との御問答歌をあげてみませう。

否いなこいへこ強しふる志斐しひのが強しひがたりこの頃しひかすてわ  
れ戀こひひにけり

否いなこいへこ語れ語れの詔のらせこそ志斐しひいはまをせ強しひ語がたり  
と詔とる

初のは持統天皇の御製でありまして、語はもういやぢやといつても、無理に話してきかせる志斐の無理はなしも、此の頃しばらく聞かないので、また聞きたくになりましたよといふやうな意味を拜します。それに對して、志斐姫はただ黙つて引込んでしまふといふことはせずに、返歌を奉つて申しますには、もうお話を申すのは嫌でございますと申し上げても、もつともつこい仰せられますればこそ私はお話を申し上げたのでございます。それを無理ばなしと仰せられますことは、まことに無理でございますうといつて居

ります。まことに機智に富んだ上品な御應答で、君臣の睦しい光景が手にさるやうであります。明朗快活な世界といふべきであります。

なほかゝる例を尋ねるならば卷一にある天武天皇と藤原夫人との御問答歌であります。

我が里さとに大雪降おほはられり大原おほはらの古ふるりにし里さとに降おらまくは後のち  
我が岡おかの龍神おんながみに言いひて降おらしめし雪ゆきの摧くだしそこに散ちり  
けむ

天武天皇は、このときは飛鳥の清御原の宮においてでありました。藤原夫人は、父祖の地である大原にお住居になつて居りました。あるとき都には大雪がありましたので、即興的に御製遊ばされ、夫人の御許へお遣はしになつたわけであります。「我が里」を仰せられるのは飛鳥の清御原宮のことであります。こちらの都では大雪が降りました。そなたの住まつてゐる大原の古い里に降るのは、まだ後のことでありませうと仰せられたのであります。

それに對して夫人の御返歌はまた注目すべき御出来榮であります。「龍神」は支那といふ龍神のことで、水や雪や雨のこを掌る神であります。一首の大意は、都では大雪が降りましたさうでございますが、實は私の方の山に住む龍神に言ひつけて降らせました。そのかけらが都の方へ飛んで行つたのでございます。それを「大雪降れり」は「降ら

まくは後」なごい仰せられるのは、まごにおかしいごでございませういふやうなごになります。形の上ではなにか反対なきつてゐるやうなごがありますが、寔に琴瑟相和すご申しませうか、打てば響くごよくかなつた御和樂の御様子が見えるのであります。そこには、まごに明朗快活な雰圍氣が漂うてゐるごを感ずるのであります。ありがたく忝けなき御模様であります。

ごころで、かういふ明朗快活な氣分は、單にかうした問答贈答の作にあるばかりでなく、一首のごごの調の中にも見られるのであります。例へば卷一のはじめにある「中皇命」が紀の温泉にお出になつた時の歌なきはそれでありませう。

わが背子せこは借盧かりほつくらす草かやなくば小松が下の草をからさね

「中皇命」はさういふ方がよくわからず、歌の解釋にもむづかしいごころがありますが、ごにかく「背子」は、一般に女子から男子を呼ぶ親しみの言葉ごしまして、「あなた」ごいふやうな意味にいたしませう。一首の大意は、あなたは今旅先で假の小舎をお建てになつていらつしやいますが、若し屋根をお葺きになる草が足りないやうでしたら、あの小松の下に生えてゐる草をお蒞りなさいませごいふので、まるで幼い子供たちがまごご遊でもしてゐるやうな感が

するご評された方があります。まごにあげない、明るく光景であります。そしてこの歌には「わがせごかりほつくらすかやなくばごまつがしたのかやをからさね」ごいふやうに「カ」の音の繰りかへしの多い歌であります。さういふごころも一種特別の明るい感を起させてゐるやうであります。

あげない明るさごいふやうな言葉を用ひてまゐりまして、話はさうやら再びもこの「わらべ心」に復歸しさうであります。本年一月以來、お話してまゐりました、この貧しい話も一應この邊で打ちきりごさせて戴きます。

まだ／＼申したいごも多いのであります。あごは各位の御研究にまらたいご思ひます。これまでお話してまゐりましたやうに、萬葉集の歌は、決して私ごもの生活から離れたものでなく、却つて身に近々ご親しく感ずる方が多いのであります。わかり易いのであります。註釋書を頼らずに本文に親しむ幾度も繰りかへして讀み浸るやうにして戴けば、自ら發明されるごころが多からうご思ひます。

切に御勉強を祈つて筆を擱きます。(終)

# 戦時下に於ける幼稚園經營の實際

千葉縣女師附屬幼稚園 田 邊 周 子

十一月七日千葉縣教育會主催のもとに縣國民教育保育部本年の事業として、保育研究會が、當千葉縣女子師範學校附屬幼稚園に於て開催されました。當日我が保育界の最高權威者で入らせられます倉橋物三先生を御迎へ申上げて親しく御指導を仰ぎ得ました事は、無上のよろこびで御さいました。左記は其研究會當日、當園保姆の研究發表した要項で御座います。極めて拙いもので御座いますが幼児の教育編輯部から投稿をおすゝめいただきましたので、茲に御研鑽深き全國の皆様は御批評御指導を御願ひ致したき心算のもとに記させていただきます。

何時の時代に於ても幼児教育を疎かにしてはなりませんけれども、今の時代、この時局下ほき切實に幼児教育の重要性を萬天下の人々に強調せられてゐる時は又さもないかミ考へて居ります。即ち時局下に於ける幼稚園保育の深刻なる覺醒ミ、更にまた國民學校の新制度に對する就學前教育ミして周到の用意ミ、國民教育上の最大の任務ミを自覺せねばならない、と思ひます。此重大な秋に當りまして、

幼稚園保育研究會開催の機會を與へていただきました事は、皇國保育界の爲まことに喜ばしい極みに存じます。以下私の幼稚園に於ける本年の經營の實際について簡單ながら報告させていただきます。

## 一、過去の保育使命と現在の保育使命の相違

幼稚園の保育も過去は全く其の子供の個性を尊重して、個人的に眺めて一人々々の子供、その子その子を立派に育てあげれば、保育の使命は果されて居たわけでした。けれども、現在には御承知の通り國民學校令の改正によりまして、上は大學からは國民學校迄皇國の道に則つて所謂皇民鍊成さひふ立派な目標が樹てられた、と同時に幼稚園もまた其改革に伴つて行かねばなりません。幼稚園令の改正こそ未だなされて居りませんが、私共保育者の必構へて致しましては、過去の保育目標の上に、更に皇民鍊成の一條を強調されねばならないと存じます。

## 二、當園の保育目標

そこで當園の保育目標もまた、皇國の道に則つて、即ち國民學校の精神に則つて、國體に對する敬虔なる心情を涵養する事に重點を置き、日常生活に於ける正しい躰をするに共に丈夫な身體の子供に育てるに云ふ點に努力致して居ります。

### 三、保育實際について

#### 1、全體主義

當園は保母三名で百二十名の幼児を保育致して居ります。二年保育(年長組、年少組)一年保育を三組に編成して居りますが、全く保母三人一丸となりすべて全體主義で保育致して居りますので、組分け等致して居りましても殆ど全體的に取扱はれて居りまして、食事とか作業の時、便宜上止むを得ず組に分れますが、三人一様、全體責任を以て預つて居ります。この組の子供、此の組の子供の區別せず一體となつて遊びの相手を致して居りますので、自然幼児の遊びにも、心情にも、生活すべてに夫れが和のかたちとなつて現れて居る様に思はれます。

#### 2、入園當初の幼児の狀態

當園では入園式翌日から附添を一切つけません。園舎内には幼児のみより外は入れない事にして御座います。これは申す迄もなく家庭の母に代るべき保母に幼児が早く親しみをもたれる様に、また友達とも早く馴れて友達同志で遊

びにはいれる様に、そして一日も早く協同生活に馴れさせて幼児ながらに社會の一員となつた事の自覺に導き入れ、また早く賤げやすい環境をつくりたいと思ひまして實行致して居ります。

これはた易い様ですが種々の性質の子供の集りで、なかなかさうやすく保母の都合のよい様にはなつてくれません。實際は一苦勞を致して居ります。泣いて暴れて逃げ出してふ子供もあります。それを迎へに来ようとして蹴られたり、小さい爪を立てられたり喰ひつかれたり、様々の格闘を演じます。一度見逃がしますと、もう到底後では如何に努力しても駄目で一ヶ月たつても三ヶ月経つてもものびくさなり附添を離れよう致しません。ですから如何に困難でも翌日から附添お断り主義で徹底致して居ります。

こんな風に泣いて困る子、亂暴な子、好奇心にかられて喜び勇んで居る子、しょんぼりやつ泣くのを我慢して居る子等々様々ありますが、これが千變萬化で今日の通り明日もさ云ふわけに到底なりません。今日よい子が明日泣いて暴れる子に變りますので、八十有餘名の新入園児をまつ始めは隙を拵へず遊ばせる事に極力努め、園舎内の遊びによつて身邊の事から躰をはじめ、いろ／＼、様々、種々、種多の現れの幼児を保母は世話さ遊びの中で、教育の機會

を見つけて、見逃がさない様に氣を配り、心を働かせ、身を動かして誘導致して居ります。然し或時は一人の子供に一人の保姆がかゝりつきりの事もありますが、約一二週間位で、泣いた子供も暴れた子供も涼しい顔をして落ついて友と同一行動が出来る様になります。

保姆の心構として、何處までも根氣よく優しく、親切、懇切、丁寧に行き届いた世話でなくてはならないと思ひます。

### 3、第一保育期に於ける生活訓練

生活訓練はまづ幼児の身のまわりの細い事から始めなければなりません。登園の挨拶から履物の置場、出し入れさか、帽子のかけ方さか、さいふ様に自己の所持品の始末、又は交友關係、遊具の使用法、言葉遣さか、何々さ細い事から擧げれば限りなく様々ありますが、特に左の順に重點を置いて躰を致しました。

#### 1、皇室に對し奉る態度

四月二十九日天長節祝賀式に於て、幼児としては、始めて、御眞影を拜し奉るわけでありますので、此の機に聖勅の御趣旨を奉戴して

天皇陛下の尊く有難き御事を、感得せしむることに努め、併せて、あの御寫眞の奉安されて御座います奉安殿への禮拜さ、宮城遙拜さを此の時から、しつかりきちんさ(舊園兒

と一緒に通園の幼兒は眞似てははじめから禮拜して居ります)が出来ます様躰けます。苟くもふざけたり、さわがしかつたり、笑ひながら禮拜する様な不尊の事のないやうに、始めから尊嚴さの絶對なる事を、強く指導致します。

#### ロ、神佛に對しての態度

招魂祭、大詔奉戴日其の他の機會に於て神社參拜に際しては敬虔の情念を啓培し、幼いながら日本の子供らしく、慎重に感謝の意をこめて禮拜する様に躰けて居ります。

#### ハ、團體の一員としての生活態度

幼兒としては、生れて始めての團體生活を經驗致しますので、はじめは短時間共に座席に腰かけて居る事さへ、苦痛の子供があるので、まして一緒に歩くさか、順番を待つさか、人のして居る事を見て居るさか、人の話をして居る事を聞いて居る、さ云ふ様な最も簡單な事すら出来ないのので、さうした事から團體の中の一人であるさいふ事の自覺に導き入れなければなりません。そしてそんな細い事から順々に躰られて行つて、百二十名の子供が或秩序を保ちつゝ、それ々々自己の好きな生活にはいつて行ける様になります。中には個性を發揮して、積木なご自分ばかり澤山欲張つて友の困るのも平氣で居るさいふ利己主義の我まゝな子、ブランコなごも一列勵行せず順番も待てず秩序を亂す子、友ささうしても協力して遊べぬ子供等々あります。

保姆はそうした子供の生活して居る間に、それ／＼機にのぞみ、折にふれ機會を捕捉して、其の子供の個性に即した誘導をしなければなりません。

#### 4、家庭との連絡

斯様にして第一保育期に於て、個人的、團體的、社會的の基礎が行はれましたのでそれ等がどの程度家庭生活にまで徹底して居るかと思ひ、家庭と連絡をとり、左の要項により家庭生活調査を致しました。

#### (イ)、養護衛生方面

- 一、起床の時間
- 二、目醒めの機嫌(ぐづるか一人で起るか)
- 三、洗顔(催促されずに一人で洗ふか)
- 四、食事の量。咀嚼するか
- 五、入浴の状況(誰かはいるか、洗はせるか、一人で洗ふか)
- 六、睡眠状態(就寝時、睡眠時間、よく眠るか、小用に起るか、夜尿するか、就寝時電氣を消すか)

#### (ロ)、躰の方面

- 一、神佛の禮拜が出来るか、
- 二、生活訓練としての様々の挨拶(お早う、ごさいます、お休みなさい、御馳走様、行つてまゐります。只今、有難う御座います、いらつしやいませ、さよなら)

三、食事のいろ／＼(好き嫌ひをいふか、こぼすか、きちんと坐つていたゞけるか、お箸を上手に使へるか、どの位の時間かゝるか、おやつは何度位ねだるか、時間を定めてあるか等)

四、家庭生活に於て幼児がどの程度自分のことを一人でやつて居るか(洋服が一人で着られるか、自分の床を一人で片付けるか、長上の言ひつけに従へるか、玩具箱が決つて居るか、玩具其他自分で使用したものを一人で片付けるか、寢衣に一人で着かへられるか、寢かしつけていたゞかず一人でおこなしく眠るか等)

#### (ハ)、其他の生活

- 一、交友關係(近所に友達があるか、何人位、何歳位の方か、主として如何な遊びをするか)
  - 二、遊具の種類
  - 三、金錢を使ふか、使ふ方は主としてどんなものを買ふか
  - 四、お手傳ひが出来るか(弟妹を可愛いがるか、お使が出来るか、お庭はきが出来るか、其他)
  - 五、御子様について何か困る事
- 右につき家庭の感想をも求めた結果、そこから研究考慮の上八月中の生活表を考察致し、ヨイ子ノヤクソクとして

次の六ヶ條を定め家庭へ通知致しました。

ヨイコノヤクソク

一、アサノヤクソク

- 1、グヅラナイデハヤクオキル
- 2、ヒトリデヨウフクチキル
- 3、カホチアラヒハチミガク
- 4、キユウジヨウウハイ、カミサマホトケサマチ  
オガム
- 5、オハヨウゴザイマスノアイサツ
- 6、ラジオタイサウ
- 7、シユツセキカードチハル
- 8、アサガホニミヅチカケル（幼稚園から各自の朝  
顔鉢をもちかへり世話をする）

二、ゴハンノヤクソク

- 1、ゴハンノジカンニキチントタベル
- 2、イタダキマスノアイサツ
- 3、キチントスワツテタベル
- 4、タベナガラタツタリフザケタリシナイ
- 5、ヨクカンデタクサンタベル
- 6、ナンデモタベル
- 7、ゴハンチタベナガラアマリタクサンオユチノマ  
ナイ

三、オヤツノヤクソク

- 8、コボシタゴハンチヒロフ
- 9、ゴチサウサマノアイサツ
- 1、オヤツハ十ジト三ジダケ
- 2、ヤタラニネダラナイ
- 3、ソトヘデタリアルキナガラタベナイ
- 4、ヒトリデカツチタベナイ  
アソビノヤクソク

四、

- 1、オウチノヒトニキイテカラアソビニユク
- 2、アソビニイツテモオヒルマヘハ十一ジオヒルカ  
ラハ五ジニナツタラキツトオウチヘカヘル
- 3、ウミヤカハハオトナトイツシヨニイク
- 4、オモチヤハダイジニスル
- 5、イヂワルチシナイデナカヨクアソブ

五、

- 1、七ジニナツタラネル
- 2、ヒトリデネマキチキル
- 3、オヤスミナサイノアイサツ
- 六、ソノホカノヤクソク
- 1、ナマヘチヨバレタラ「ハイ」トヘンジチハツキリ  
スル

- 2、オイヒツケハナンデモスグキク



- 3、オカネヲツカハナイ
- 4、ナニカヨイコトヲスル

「オツカヒ」「オモリ」「オルスキ」「オサウジ」「カタタキ」「ミヅクミ」ナンデモカンガヘチャクニタツコニナル

八月中毎日お母様に幼児の一日を通しての感想を記していただきましたところ、豫想外好結果を得ました。

#### 5、第二保育期

此の期は幼稚園の様子には馴れて幼児の遊びはいよゝゝ充實してまゐりますし、身體の發育も益々佳良さなりませぬので、運動會さか遠足さか特別の行事によつて、心身共に鍛鍊されますが、其の上二段に精神的、身體的に幼児ながらの「ガンバリ」をもたせるまでに導き入れたいゝ實踐致しつゝあります。後に記します音による體育的遊びは是等を多分に加味して研究したものです。

最近幼児の遊びが豊かに充實された日々を迎へる様になりましたが、それにつれて交友關係が密になり道園の途中友達の家へ寄り道をしたりまた廻り道をしたり致し、豫定帰宅時刻が遅れ勝ちなるのを見受けましますので、十月はじめから通園訓練を開始致しました。家庭に連絡をとり各自の通園所要時間を調査致し置き、小さなカードに月日ご、家からの出發時刻を幼稚園から帰宅の時間の記入欄を印刷

致しそれに正確に記入願ひ、それを幼児は毎朝登園の際持参致し、保母が一々點檢注意して歸りの折幼児に渡して個人的に躉けつゝあります。十一月になりましては大體の幼児が保護者からの通知の所要時間に略々一致してまゐりました。戦時下の幼児、やがて將來世界の指導者たるべき大國民なる幼児故小さい事ながら、しつかりご身につけて置きたいと思ひます。

#### 6、第三保育期

程なく國民學校に送ります幼児達ですから團體生活の基礎訓練を段々養ひ國民學校の就學に堪へ得るだけの素地を充分につくつておきたいと思ひます。

#### 7、其他

當園は比較的自由の遊びの形態の中に電鈴により幼児の遊びを一時靜止させる様を致して居ります。一寸異様に感じられるかと思ひますがこれは、かつて學校全體で防空演習をした折に幼稚園の方は賑かで合圖が徹底せず、本教師範や附屬國民學校が避難訓練された後に漸く演習したさいふ様な事實がありまして保母一同大狼狽致しました。演習はさきながら戦時下に於ては何時急に避難せねばならぬかも計り知れず萬全を期さねばなりませんので茲に種々相談の結果電鈴により一時靜止させ次の命令を待つさいふ態度を常に躉けて置きたいと思ひ實踐致して居ります。以上

# 幼稚園の職域御奉公

## 青森幼稚園 今きよ

御依頼を戴きましたので職域御奉公とも相成らばと物しました。

昨年三月某新聞青森版に「私立青森幼稚園は二十六年前から園児に神道教育をして来たが此の指導方法が偶然國民學校の根本精神となる基礎的鍊成と合致し云々と出ました偶然合致の字句が誠に滑稽と存じました。吾國肇國の御精神を辨へたなら戦時も平時も昔も今も不變の方針又國民學校も幼稚園も家庭も一元の下に其方針が建つべきであると信じます。今時局下は敬神尊皇、増産、消費節約、勞力尊重等とさげばれて居ますが、皇國世界無比の皇道精神は悉く一貫したるものと存じます故大東亞戰遂行の教育方針も結局は何時と同じでありますが、末端の方便としては變つて行かねばならぬと存じます

### 一、皇祖天照大御神様お奉齋

長くも先皇御即位御記念として御奉齋申上げ、御稜威に感謝し、小學校も斯くしてほしいと教育會等にも提案しました、各幼稚園も無論ではありませんが遺憾乍ら其時とはとても問題ではなく一昨年迄も天にまします主の神様の外眞の神はなく凡ては偶像崇拜で野蕃人のすることであると朝禮の際教へて居るのも聞きました、之れは由々しき問題で聞き捨てにならぬつまりパイの卵を養成して居ると同じだと痛感しましたが、自分の立場として之を得ませんでしたが、知らず々に善いこととしてやつて居たことで根本を知らないからでもあると思ひますが、今はそんな方は無いと思ひます、有難いことに過日東京から參觀に來られた保姆さんのお話に國民學校も幼稚園も大神宮様を奉齋しつゝあると承り嬉しい便り、と存じました。

### 二、増産

一月號に申述べました如く幼児の遊場所を

妨げぬ限り悉く耕作を致しましてお土の御恩を覺らせませす

### 三、勞力尊重

幼児自身に出來得る身の廻りは勿論大人の手を借らずにさせることゝ大人の手傳をさせる事をも或る程度まで訓練すること（之亦一月號に述べました）

### 四、消費節約

一物をも無駄せぬやう勿體ないと感謝して使ふ習慣は幼時よりせねばならぬと存じます、そして其れを其生活に利用させる事に就ては保姆として幾分か職域を越したやうの嫌ひも無いわけでもありませんが、保姆も亦皇國の一員宇宙の一細胞である限り世界平和の聖戰の爲めには誰彼の區別もなく氣の付くまゝ、而して自分の外に他に何人も實現して呉れない極めて正當なる御奉仕ありとせば人生の幼時期の基礎教育をなすべき者の大いなる職域奉公としては飽くまでも成し遂げなければならぬと

存じまして

### 燃料節約

「勝ち抜く爲めには燃料は大なる力、東條首相の仰せ、私は三年前本縣で痛切に木炭の不足をかちました際、「燃料節約と焚火の利用に就て」の意見書を認めまして諸官衙を訪ねました所、最後に經濟警察に認められまして宣傳を依頼され署長さんから感謝状を戴きました、其後も絶えず心がけて居りますものゝ思ふがまゝに實現せず居りました所、今年は國を擧げての燃料云々の聲に黙視し難く再び當局を促がしまして去日帝國發明家展覽會場の一部に市から展示會を命ぜられ五日間懸命に致しました。

燃料節約と同時に何故に焚火の奨励をさげぶかと申しますと焚火をせぬ家庭ではどれ程燃料を日に捨てるかと云ふ事を、野山の枯柴、河川海岸に漂ひ來る寄り木等焚火の材料には莫大なること、勝ち抜く爲めの資源啓蒙と老も若きも幼き者も拾ひ集むるの國策に應ずるのであると云ふことを實現さす爲此の問題は全國的に氣がつかず居る人貴重な物資を捨て、顧みぬ向きの數

多あることを痛感し此の舉に出たのであります、次に幼児を通じて整はぬ歌を作り反省を促して居ります。

むかし〜其昔

大神様は岩や戸に

おかくれなされた其時に

眞暗闇みになりました

神々さまはお山から

薪木を集めてたきました

大神様のおよろこび

世界は明るくなりました

面白々面白や

私達も其やうに

木片も拾つて焚きませう

オテンの串もキャンデーの

お箸も捨てずに燃やませう

お火になるから暖かい

お飯もおかずも出來ますよ

お風呂に溫度計と揭示板

市内の風呂屋のお湯の溫度は何時も區々であること、或はお湯の浪費によつて燃料節約の點からも又健康上からも殊に幼児に影響の大いなること（當地人は特に熱い湯

を好む癖あり）を思ひ之も三年前から提唱して居ましたが、たう〜今春から準備して今回漸く市内各お風呂屋に掲示板を添へて寄贈することが出來ました。斯ることは各人様におすゝめするものではありませんが前にも申述べます通り實現させる方はないので時局下、廣い意味から現在及將來の子供の御國を護る爲めの御奉公と存するのであります。

終りに附言しますことは、自分は幾十年此處に勤續して居ますので何事をなすにも割合に仕易いと曾て申述べましたが、とかく金ですることは金臭いと聞いて居ますが出來得る限り物資の偏重を避けて精神的に邁進し度と存じて居ります。

餘り長くなりまして失禮の段御教し下さいませ。

市立静岡幼稚園

### 金原のぶ

大東亞戦争完遂！ 之こそ國を鬧げて唯一無二の目標です。戦勝完遂上、教育の重要は申すまでもありません。今回政府の重點國策の中に教育の振興が擧げられたのは

當然と言へば當然であり、教育者として嬉しくも亦心強い極みでもあるが、それだけに又重い責任を感じます。私達職奉公の道はこの目標に集注されねばなりません。

戦勝途途、皇國興隆は一にかゝつて皇民にあり、その皇民たるべき負荷の大任を全うせんとする第二皇民の錬成、これこそ夢寐の間にも忘れ得ぬ私達の職域奉公の途行です。

幼き皇國民にひたぶりの皇國魂を培ふことに努めてゐます。大君の「御寶」としての精神皇國魂の錬成です。大君に對する崇敬と皇國に對する憧憬とが渾然と凝つて皇國愛となつて發露し結晶した「皇國魂」、三つ子の魂百までもと根強く培はれ保たれ育たれゆく「皇國魂」、その錬成こそ私達の保育です。

然し念願に比して誠に微力であり、平凡なる日常の經營です。今回は主として朝の集りに關する行事の一端だけについて述べます。

### 一、毎日の朝禮

◎朝の氣持 大切な朝の氣分。元氣で機嫌のよい裡に幼児なりに緊張した嚴肅感で

整然と整列させます。

◎宮城遙拜 緊張裡の嚴肅感。流石に皇室の有りがたさは幼き者にも感じられれます。一様に頭が下がり、又上がります一時水をうつたやうになります皇國魂が幼児の心に充滿します。

◎祈念 「兵隊さん有難う」と心に誦します。いたいけなひたすらに英靈に感謝を捧げ、傷病兵の平癒を祈り出征兵の武運長久を念じます。

◎日本の子供の歌合唱 日本人としての幸福と希望を昂揚する聲です。元氣で丈夫で伸びて行く皇國幼兒の歡喜です。

### ◎訓話

◎幼児體操 元氣に伸び／＼と四肢五體の律動を波うたせませす。

◎正常歩行進 潑刺と正しい姿勢で歩かせます。胸を張る、手を振る、前方を正しく見る。日本を進めて行く心、日本進軍の心を象徴する正常歩、保育への進軍です。

### 二、特別の日

普通朝禮に國旗掲揚を加へます。すると揚る國旗を追ふ目、追ふ心。屋根を抜いて青空にひらめく國旗につぶらな瞳が集

注されてしんとします。すが／＼しい其の心持で日の丸讃歌を歌ひます。

### 三、大詔奉戴日

◎訓話 この日は聖諭闡鑑についてお話をいたします。これは教育勅語の御趣旨を徳目毎に繪に示したもので、これを繼續的に一徳目づゝ（繪の一枚づゝ）を平易にお話いたします。聖諭を縦に時局を横に組み合はせて皇國魂を織りなす趣意です。

◎神社參拜 朝禮に續いて全職員全幼兒が神社參拜をする、二拜二拍手に心を込めて祈念いたします。

◎宣戰詔書奉讀 この日職員一同は大東亞戰爭の宣戰詔書を一齊に奉讀いたします。聲の揃ひは氣の揃ひです。聲を揃へて同行の心持を保ちながら奉讀します、かくして感激も一入新にして保育打合せ其の他職員會を毎月いたします。

### 京橋幼稚園 時田そよ

幼兒は國防國家の至寶である。やがては健民健兵として巣立つ子供達、世界の隅々にもまでも親まれ敬はれる大國民の育成を此

手この心で爲すを思ふ時、楯は取らねどその擧措の重大に鞭うたれるのであります。

健康 御預りする子供達を先づ健康に。

日光浴と足の鍛錬、皮膚を丈夫にすることは健康保育の要諦でありませう。今までの幼稚園餘りにも室内保育が多すぎはしないか、特に都市幼稚園に於ては、と考へまして一日の中の陽にあたる時間の調査を致して見ました所、四季を通じ男女によつて相違はあるが日向の戀しいこの頃でさへ大體左の様な結果でありました。一週間の連続調査で保育時間五時間、日にあたる時間一時二十分弱です。園庭が狭いと言ふことも理由でせうが、その時間の少いのに私自身驚きました。以來つとめて外氣に觸れる様にと朝の一時のレコードに併せての正常歩訓練も快晴でさへあれば戸外に出る事にしました。靜かな通りを五十分最長を三十分位として軽い散歩の意味ではあります。が姿勢と速さに重點を置き、口を結んで胸を張つてお友達と肩を並べてと約束をして出かけます。

戸外に出ると周囲の物事に氣を取られ淺然と歩くやうになり勝ですから今日は月島

第一公園まで、今日は相生橋まで等と目的地と距離をよく示し、普通よりはむしろ物足りない位の距離と時間内で整然と歸れる様に心がけます、二列縦隊にて後になる程歩調が亂れ勝ちになるので隊伍はなるべく短かく大低一組単位で出かけます。

更に一週一回の野外保育の實行でありますが、場所は四號埋立地、こゝは子供が家庭にあつても楽しい遊び場であります。こゝでの保育案は鍛錬保育を主とし太陽の下、青草の上で子供の體操、角力、駢足行進等の團體行動、蟲捕り摘草、まゝごと等の自由遊びなどこゝでは上着を脱ぐのが御約束の様に力いっばい遊びます。然し之れが、一週間保育の連鎖である以上過勞にならない様に注意します。何故ならば子供達は自分の意欲のまゝに疲れることを知らずに行動致しますので、少し度を過すと歸る時は非常に疲勞の色が見えます。お辨當前に仰向けに寝せて休ませるとか或は何時よりも早く切り上げて歸す等注意します。今一つは薄着の調査で大人よりも下着一枚多くといふことを標準に家庭にも注意致しますが、野外に出る時は特にその調節に留

意し、目的地に着いた時脱がせ、歸りには着せる等子供自身にやらせませう。

この様な積極的鍛錬をなすにつけても思はれる事は子供の運動量即ち體力、疲勞度をはつきり知り度いことです。之れは専門家に俟たねば分らない事でありませうが、この年齢の子供にこの程度の時間の運動、例へば健歩行進ならば何歳児には何キロまで可能と分かつてゐたら（或は分つてゐるかも知れない）積極的鍛錬も豫定のところまでは思ひ切り實行出来るのではないでせうか。

襪 次に襪でありますが大國民としての態度、おほらかで清らかに強く明るい國民性。上御一人に對し奉り常に敬虔な民の心を今この時機に植ゑ付けたい。かうした氣持ちから生活記録を家庭との協力で實行して居ります。初めは夏休みの生活をきまり良くする爲にと始めたのが、意外の好成績と反響を得まして、日常にも欲しいとの家庭の要求で繼續實行することにしました。襪の項目は御母様方の御希望とその月の強調したい事等取り入れまして毎月少し宛變へて居ります。幼稚園と家庭と交互に見ま

八月	人員一七六名中	出来た人数
一、早起(六時)		二二三
二、はみがき		一一〇
三、宮城遙拜		一一一
四、ラジオ聴採		一〇六
五、喧嘩をしないで遊びませう		九七
六、いたゞく前の手洗ひ		一一〇八
七、おやつは一度だけ		一一八
八、何時にねましたか		八一
九、お通じはありましたか(何回)		八三
十月		
一、蘭塵		二二三
二、神様佛様を拜ませう		一一〇
三、お返事をハツキリませう		一一一
四、おやつは一度だけ		一〇六
五、喧嘩をしないで遊びませう		九七
六、ちよつとした事に泣かないで		一一〇八
七、いたゞく前の手洗		一一八
八、後仕末を忘れずに		八一
九、御家の手傳が出来ましたか		八三

すので、子供達は之を同覽板と言つて居ります。

記録項目と實踐統計を並べて見ませう。

八月はおやつと喧嘩が殆んど實行出来なかつたやうです。永い夏の一日おやつの一度は無理もない事と思ひますが。九月から一日の記録を家庭では全部を記入し、幼稚園ではその一部を記します。十月の例を取りますとお返事ははつきりませう。喧嘩をしないこと、ちよつとした事に泣かないで、後仕末を忘れずに、この四項目はお歸り前の出缺調と同時に子供達の嚴肅な批判の下に各自に記入させます。之を家庭に

持ち歸り全項目を記入して翌日持參致します。

大變に忙はしい家庭でも、保育に協力の意味で、形式的でなくまめに記入して下さい。子供達も泣き度い所をつい我慢する、喧嘩になる所も思ひ出して止してしまふ、等好結果を得る様であります。總べて躰事は永く實行しないと効果がありませんし、又長く行つてゐますと兎角形式的になつて初期の目的に副はないものとなり勝ちです。時々同覽板の形式や體裁を新にし、項目の内容はお母様の御希望を取り入れる時非常によいものが得られる様であ

ります。さ、やかな實行が積つて、何時の日にかお役に立つ時であらうかと楽しんで居ります。

人皆が何等かの意味で歴史の何ものかを分ち持つこの秋にあたり、洋々たる日本の未來を雙肩に擔つて幼児の保育に御泰公の誠を致す私達保育者の幸こそ無上とや言ふべきであります。

**お願ひ**

お蔭様で本誌も四十三の年を加へることになりました。幼児教育の雜誌としての職責を充分果し度いと念願してゐるのですけど、なか／＼意に任せず思ふやうな雜誌にならず、皆様にお申譯ないで存じて居ります。さうぞ皆様、來年も舊に倍して御叱責と御鞭撻を御願ひ致します。そしてよりよい皆様の雜誌に御はぐくみ下さいますやう、御願ひ申上げます。

(編輯係り)

## 各地幼稚

### 園便り

## 名古屋市立第一幼稚園

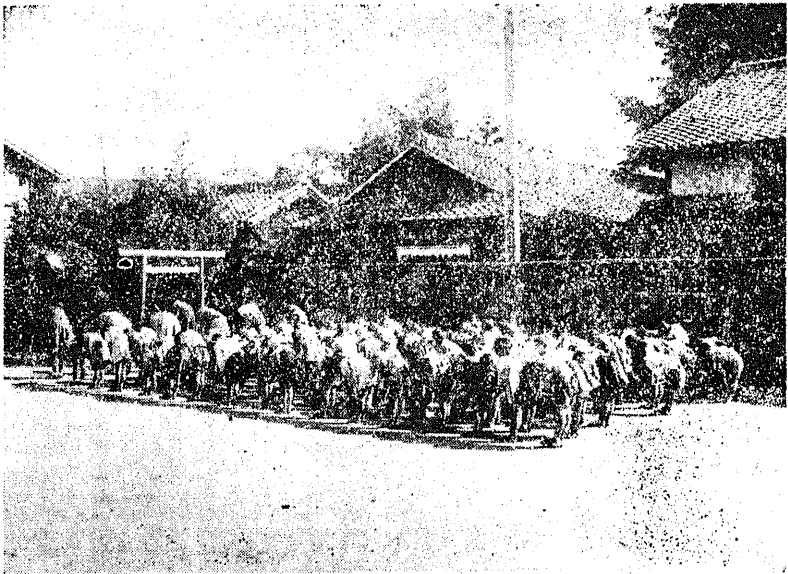
大 島 せ き

### 一、沿革の概要

明治二十四年三月に師範學校幼稚園が廢止せられた時、當時の師範學校長であつた中川郊次郎氏は之を獨立した別箇の施設として更生發展させることを發起せられた所、幸にして市内有識者多数の協力を得て同二十五年三月中區南久屋町八八番戸に私立名古屋幼稚園を創設せられました。之は當時に於ては、本市に於ける唯一の幼兒教育機關でありました。

又之が本園の誕生でもありました。明治三十二年八月に同園は現在の名古屋市立第一高等女學校の前身校たる愛知縣名古屋高等女學校の附屬幼稚園となり同三十四年九月東區久屋町一ノ四に園舎を新築して移轉しました。之が現在の本園の位置であり、又園舎であります。

幼稚園令制定の翌年即ち大正二年獨立して名古屋市立第一幼稚園となつたのでありますが、此の間、本校の校名改稱に伴つて、



朝のお詣り

愛知縣名古屋高等女學校附屬幼稚園から市立名古屋高等女學校附屬幼稚園に、更に市立名古屋高等女學校附屬幼稚園から名古屋市立第一高等女學校附屬幼稚園となり、遂に現在の名古屋市立第一幼稚園となつたのであります。

一、敷地、園舎

園地面積 二〇一四、七五平方米

遊園面積 一二二五、九七

園舎面積 四九三、二二

昭和十三年度に木造平家瓦葺の改築案も決定し、起債迄も済んで居りますが敷地擴張の關係で着手がおくれ、夫に今日の如き時局柄でもあつて、只今の所何時着工せられるか見透しがつかぬ状態にあります。

一、園児數 約二〇〇名

組數 六組

年長組四、〔一年保育二〕

年少組三、〔内三年保育を含む〕

一、職員數 園長一

保母六

使丁二

一、保育科 月額 參圓也

保育後援會、本園には保育後援の目的を以て設置せられた双葉會といふ在園兒父兄の團體があつて、月額金五拾錢の會費を齎出し、公費の不足分或は特別の施設の費用に充當して居り

ます。誠に有難い會であります。

一、保育の實際(行事教育の一端)

此の機會には所定の保育課程には觸れず、本園で特に力を入れてゐる行事教育の中、毎日の行事の中で殊に朝と晝とお歸りとの三點について記すことに致します。

朝會、鈴を合圖に職員園兒一同は運動場の埴地に奉祀してある神社(皇大神宮、熱田神宮、氏神社の御三神を祭る)の社前に整列、朝の挨拶を済まして後、二拜二拍手、一拜の參拜を致します、參拜に次いで園長の訓話、訓話が終ると幼兒體操―鳩ポッポの體操と呼んでゐます―をして、引續いて全園兒二列に隊伍を組んで約十分間力強く正常歩行進を致します。初めの中は運動場を一周か二周するに止め、徐々に距離を増して参ります。

行進が終つて初めて各組共、その日の所定の保育に移ります。

食事教育、朝の神社參拜に次いで本園で力を入れてゐるものにお晝の食事教育があります。食前の手洗、食後の含嗽は勿論、特に食事中は正しい姿勢で絶対に無言で、よく噛んで行儀よく感謝して頂く指導に専念して居ります。一般に云はれてゐる「愉快に談笑し乍ら」食事することは大人の考へた理想であつて、幼い子供達には不向かと思ひます。私は子供達に食物に感謝する精神を養ふために嚴肅主義を實行してゐます。その習慣もつき大體出来る様になる二學期の半頃からは自然に出る小聲のたのしい語り合ひは見逃す程度にしてゐますが、決して語り合つてよいとは申しません。つまり感謝して食物を頂くといふ精神は「黙つてよく噛んで行儀よく」頂くことによつて養はれるものと信じてゐます。



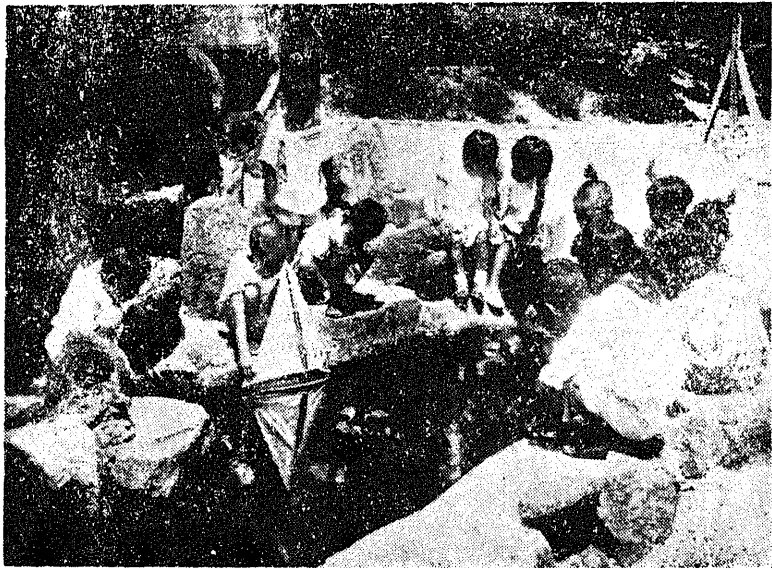
お歸り、お歸りの集合は遊戯室でいたします。室の正面には國旗を掲げ、室に入る時口を緘じて、出る迄、歌ふ時以外は絶対に口を開かぬことにして居ります。各組毎に二列縦隊に國旗に向つて正坐します。背骨を伸ばして姿勢を正し、兩足先を淺く組み合せて兩手は自然に軽く膝の上におき大體靜坐の姿勢をとらせます。園長を中心にして保姆は各自の組の前に園兒と向ひ合つて坐ります。當番保姆の指揮で國旗を通して宮城遙拜、次に黙想五分、今日一日の反省事項の訓話、最後にお歸りの歌で終るのであります。近い中に宮城の御寫眞を掲げたいと思つて居ります。坐ることの効果は實施してみても驚いてゐる位であります。

以上は一日の行事の中で三つの節を摘記したのであります。行事生活を通じて躰けて行くことは大切であり効果的であると信じて居ります。

## 京城愛國幼稚園

小島 紀子

一、組數	六組	内組……四組	外組……二組	（各組共言語を解する鮮兒平均七八名あり。外兒も含む。）
		鮮組……二組		
	年長	内兒……一三五名	鮮兒……八二名	
	年少	鮮兒……二四一名	支那兒……二六名	
		トルコ兒……一名		
一、幼兒數				計二八七名



お舟あそび

一、保育料 一ヶ月參園ですが、軍人遺家族は徴收しません。

一、職員數 保姆七名 小使三名

一、母の會 會長一、余は園児生年の月別により當番制としてゐます。

## 一、環境

當園は、京城の中央にあり、近く南に南山があり、南山には、漢陽公園があつて朝鮮神宮、京城神社、入幡宮、乃木神社、天滿宮、東本願寺等あり、北には遠く北漢山があります。交通は至つて便利な所でありますが、商店街の少し奥で、しかも附近は大きな邸宅、官舎であるため、閑靜で、とても街の中央とは、思はれぬ程であります。門より玄關までは、櫻、連翹、松、杉、桑、楓、兒手柏等各種の樹木がトンネルの様に兩側に並び植ゑられ、つゞいて、園庭の小山には銀杏の大木、松、柳、楓、栗、杏梅、桃、躑躅、山吹、薔薇、葡萄等があり、花壇、島(約二十坪宛)には、春夏秋の草花、野菜を次々に植ゑます。池には、噴水があつて、金魚、鯉、鮒等を入れています。又番犬、鳩、兎、栗鼠等を飼つてあります。

## 一、情操方面と觀察

當地では、自然に親しむ所が遠いので、出来る丈環境を整へて、強い中にも情操豊かな保育をする機努めて居ります。朝鮮の春を象徴する黄金色の連翹に始まり、櫻、桃、梅、梨、栗、躑躅、お砂場の屋根になつてゐる大藤、遊動橋の日覆になつてゐる眞紅の薔薇門、ダリヤ、朝顔、コスモス、金魚草、菊等次から次と眞冬を除く外は、花の絶間がありません。五月の始には、園児一人に

一鉢づつ朝顔の種子を植ゑさせ、毎朝水をやらせませ、そして成長の経過を觀察し、夏休みの前に、持つて歸らせませますが、とても喜んで手を入れたします。又島には胡瓜、茄子、二十日大根、南瓜、豆類、菜類、トマト等を植ゑ、花壇には、チューリップ、孔雀草、芍薬、百合、コスモス、撫子、鳶尾、ひまわり等次々と咲きます。随つて蝶、蜂、てんと蟲など澤山飛んできますので、子供達は大はしやぎで網でとります。雨あがりの時は、でん／＼蟲探したいたします。大きい小さいの澤山居ります。又鳩を四五十羽飼つて、皆で圓形を作り、ポッポポッポと呼んで、圓の中に鳩を入れてお豆をやります。鳩もよく馴れて子供の手からでも食べます。それから、兎を飼つてゐるので、子供達は果物の皮や草を與へたりして可愛がつてゐます。小鳥もセキセイインコ、カナリヤ、文鳥、十姉妹等大きな止り木の入つた網に入れて飼ひ、園庭の菜つばなやつたりして卵等も觀察してゐます。又井戸を利用して小さな池に噴水を出し、金魚、鮒等を入れています。そして、これ等の動物の亡骸は(鳩、金魚、小鳥の如き)お山にお墓を作つて埋めてお花、水等を供へてお詣りをしてゐます。園庭には、南北に離れて二つの井戸があり、水槽もありますので、夏には、園児用小如露で各自お砂場、島、花壇等への水運びに大喜びです。

## 一、躰

眞の日本精神を大東亞共榮圏の諸族民に、ひいては、世界全民族に理解させ、それを土臺として、教育し得る指導者たらしめるため、立派な躰をする様又、贅澤、虚榮、自由主義等を排斥し、質實剛健の風を養ふ様、努力して居ります。敬神崇祖の念を涵養

するため、登園すると第一番に附添と共に直に遊戯室にしつらへてあります神殿を拜み、次に宮城の御寫眞に正しく最敬禮をします。神殿を拜み、宮城に最敬禮をする様になつてから、三百名近い園児の怪我は殆どなくなつた様になりまして不思議にも有難く感謝して居ります。又報恩感謝の念を養ふべく晝食前には、

オトウサマ、オカアサマ、オイシイオベンタウラ、イタダキマス。ヨクカンデ、コボサナイヤウニ、イタダキマス。

ヘイタイサンアリガタウゴザイマス。オヒヤクシヤウサンアリガタウゴザイマス。

を言はせてあります。其の他の躰につきましても、内鮮の幼児をお預りしてのます關係上特に注意して居りますが、鮮兒はお辨當をいたゞく時に、初はフオークや小匙を使つてゐましたが、最近は皆内兒同様、お箸で、すん／＼いたゞいてゐます。又、入園當時は、國語不解の子供でも此の頃では、大抵の事は國語で話す様になりました。(先生が國語常用してゐます)結局、園児の躰も先生其の人の人格の反映なることを痛切に感じ、内鮮保姆一同は不斷の修養に努めて居ります。

### 一、身心の鍛練

内鮮園児の悉くを、大東亞を築き上げるためには、如何なる困苦缺乏にも堪へ得る體力、及び意志力を持つ、強き皇民となすべく、それには、第一に體を鍛へやうと少しでも多く日向に出して、保姆共に眞黒になつて或は遊び、或は競技等なします。此頃の朝は十時頃より三十分ばかり、レコードにより行進、スキップ、幼児體操、駢足等なします。お天氣が好くてお室に入るのが惜しい日に

は體練のため園庭で子供の最も喜ぶ蜻蛉返り、密林くゞり、山越え谷越え、擔架運び等、稍々擔力のいる遊びをして日光浴につとめて居ります。尙運動具はブランコ、滑り臺、杵登り、太鼓橋、お舟、遊動橋、回轉椅子、六人乗りの馬、繩梯子、攀登棒、平均臺、籠球用(小型)臺等を設備してあります。

### 一、自由遊び

今年の牡丹、下駄かくし、狐さん、坊さん、天神様、何つき、かごめ、人形屋ごっこ、猫と鼠、鬼ごっこ等をして遊びます。朝鮮特有の遊びといつたものは、あまりありませんが、以前自由遊びで、朝鮮特有の南瓜あそびを發表させていたゞきましたが、南瓜の賣買の約束が済んで、買つた南瓜を運ぶ、その運び方が滑稽なので、みんな吹出して遊びます。殊に先生の南瓜には子供達はこらげて笑ひます。降雪の時は雪だるまを作つたり、雪合戦をして遊びます。又少しでも氷の様な所を見つけると、スケートの眞似をやつては、喜んでゐます。

### 一、時局認識

現下の超非常時の動き、大東亞戦争の發展、大東亞建設の息吹き等にふれさせる様、又自分達が、此の聖業を受け繼ぐのだといふ自覺をさせ様と、時事ニュースを掲示板にかけ、世界地圖を掲げ、戦果又、勳を立てられた方々のお話、紙芝居等をやつて居ります。又朝鮮神宮をはじめ、各神社へは、嚴冬を除く外一ヶ月一回位参拜して、皇軍の武運長久をお祈りしてゐます。

# 兒童心理學 (第十講)

牛 島 義 友

## 智能優秀兒の問題

智能の劣つた子供には問題があるが、優れた子供には問題等無いと考へられてゐる。併し彼等にて問題が無い譯ではない。優秀な素質が磨かれずに放置されてゐる事は人的資源の濫費であるし、又子供自身も智能が高過ぎて社會生活がうまくいつてない場合もある。

先づ優秀兒はさきの位あるものであらうか、智能指數で考へれば百三十以上の者は二・四五%あり百五十以上の者は〇・〇九五%即ち千人に一人位ある。(鈴木氏の研究)百五十と言へば十歳の子供で頭は十五歳の子供と等しいと言ふのであるから大した優秀さである。斯る子供が千人に一人、日本人一億の中に十萬人居るにすれば甚だ心強い譯である。併しこの數字は推定であるから、も少し確實に優秀兒を數へ上げる必要がある。其爲に一人々々の子供を智能検査して見る必要がある。ターマンはロスアンゼルス、桑港邊の十六萬八千名の兒童の中から優秀兒を數へ上げてを

り、鈴木氏は大阪市の三十五萬の兒童の中から數へてゐる。斯る結果は單なる推定ではないので、興味ある數字である。次に表示してみよう。之でみる三百八十五以上の者は極めて稀であり、二百が頂點であると言ふ事が出来る。

I. Q.	ターマン	鈴木
200	1	1
195	0	1
190	2	1
185	2	2
180	10	4
175	8	9
170	20	13
165	27	35
160	43	79
155	64	138
150	134	265
145	150	425
140	160	

ゴールトンは偉人は四千人に一人位の割合で現れると言つてゐるが、四千人に一人位の者は智能指數から言ふと百六十五か百七十位から以上の者に當る事になる。尤も智能指數の高い者が其儘偉い人になると言ふ様な事は絶対にないが、ターマンとスコックスが過去の偉人の智能の推定をなし

てゐるが、其平均は百五十七七五となつてゐて、相當に高い。尙序にこの研究に於て最も智能が高いと推定された十名をあげるにジョン・ステュアート・ミル、ゲーテ・ライブニッツ、グロテ・イウス、マコレー、ベンサム、パスカル、シェリング、ハラー、クルルリッヂ、チャタートンとなつてゐる。

次に斯る優秀児の學校生活は如何になつてゐるであらうか、我邦に於ては早期就學や特別進級の制度が無いので、如何に優秀な智能の者も、其他の者と一緒に就學し、同一步調で勉強してゐる。米國に於ても年齢よりもほんの少し上級の學年に編入されてゐて、其精神年齢から言へば遙かに低い學年に止つてゐる。

次に學業成績を普通の兒童と較べてみるに、ターマンの研究では優秀者が非常に優れる學科(普通兒と成績の差の大きい學科)は討論、歴史、作文、文學、古代史、文法、理科等である。普通兒と殆ど差のない學科は商業實習、運動、習字、手工、圖書等である。即ち言葉の學科が特に優れ、手の器用さ等に關したものでは差がない。數學等は中位で非常に差があるものではない。この點は學科成績のみならず、學科に對する興味をみても同様で、言語的な學科が特に好まれてゐる。故に智能の優秀な者は専ら言語的なものに優れると言ふ事が出来る。

幼兒の場合も早くから文字を覺えてゐる。文字の讀み方

を初めて習つた年齢を調べるに滿一歳臺から始めてゐる者もあり、滿四、五歳になるに殆ど皆習ひ始めてゐる。斯る優秀児は家に歸つても學校の勉強を餘りせず、専ら課外の讀書をして楽しんでゐる。其讀書數は普通兒の倍位である。例へば二月間の讀書數を示す次の如くなる。

年 齡	男		女	
	優秀兒	普通兒	優秀兒	普通兒
6—7	9.3	0	11.5	0
8—9	12.4	4.6	15.2	5.6
10—11	14.7	7.3	15.6	8.7
12—13	12.8	5.8	16.5	7.7
14—15		7.5		9.3
人 數	272	403	23.9	405

又其書物の種類も知識的小説、自然物語、歴史、科學に關した者が普通兒より多く、冒險小説感情の小説は普通兒より少くなつてゐる。

次に斯る子供や偉人は一般に多才であつて、唯一つの方面で優れるばかりでなく、色々な方面で才能を發揮してゐる。其代表的なものは、ゲーテ、フランクリン、グ・ヴィンチ、リガレオ、ユーゴー、ボルテール等である。グ・ヴィンチの多才な事は今日餘りに有名になつた。併し偉人の中にも才能が一つに偏してゐる人もある。特に音樂家、美術家等には其専門だけで優れ、他の點は凡人同様な人がゐる。例へばモーツァルト、バレストリーナ、レムブラントの如く。

偉人や天才の性格に關しては古來色々な説がある。ロンブローゾは天才ミ氣狂ミは紙一重の關係にあると言ひ、又天才の中には性格異常者や變人、病人、不具者等も少くない。或時シーザーは面接を求めた客に對し、傲然ミ頭も下げなかつたので、ひさく相手の氣を損じた事があつたが、實は實際に彼は癲癇の發作を起してたのだと言ふ話が傳はつてゐる。不具者や環境不良者、私生兒等は劣等感に基く過度の補償作用によつて偉くなる事もある。斯る場合も性格は自ら歪められて來よう。

斯く偉人の中には常識外れの人もある様ではあるが、智能優秀な兒童に關する限り斯る事は餘りなく、一般に諸性質は圓滿に發達してゐる。又道德性なごも普通常より遙かに優秀になつてゐる。

又身體的方面を見ても、頭のよい子供は虚弱である等の世評は誤つてゐる事が證明されてゐる。ターマンの比較研究によるミ、優秀兒は普通兒に較べて出生當時の體重も重く、母乳豊富で、歩行言語始めの時も早く、睡眠状態も充分であり、虚弱者少く、頭痛、風邪等も少くなつてをる。斯る故に智能の優秀な子供は性格や健康も亦優秀であつて、ごにも問題ミする點が無様である。

併し時には其社會生活がうまく行かなくて困つてゐる様な場合もある。一般に餘り智能の高い子供は仲間はずれを

する傾向がある。普通の集團で指導者になる子供は體の大きな人好のよい、勇敢で寛大な子供、智能は百十五乃至百三十位の者が最も多い。百三十以上で指導者になる事は少く、百六十以上で指導者になる事は殆きない。

或百九十の指數をもつた九歳兒の例を述べよう。彼は五年生だがまだ一度も指導者になつた事はない。否れごころか組の人から孤立してゐるので、問題ミして教育相談所に連れて來られた位である。智能検査の結果智能が非常に優れてゐる事が判つたので、特別の優秀組に編入させた。この組の平均智能指數は百六十四もある極めて粒よりの者の集りである。斯る組に入るご間もなく學級から出している新聞の編輯者に選ばれ、やがて級長に推された。次の年には他の組ごの仕合には、主將ミして活躍する様になつた。即ち前には指導者にもなれなかつたのに、今度は指導者ミして愉快な學級生活を送る様になつてをる。

斯る餘りに智能の高い子供は澤山の言葉を知つてをり、六ヶ敷い言葉を使ふので、普通の子供に意味がまく通ぜず、其爲に外國語を喋つてゐる様な感がする。一般の子供には彼の言ふ事が判らず、又彼には普通の子供の話が一向に面白くない。斯くして彼は孤立化して來るのである。

又學校の授業も斯る優秀兒には平易過ぎて一向に興味が出ない。従つて教室では話をしたり、他の事等をして遊ん

である。そのくせ先生から質問されるこ、ちやんこ筋の通つた答へをする。それで何だか先生を馬鹿にしてをる様な印象を與へ、生意氣だこか、授業を妨害するこ言つて非難される事が多い。

外國では斯る場合上の學年に編入させる事によつて巧く解決させてゐる。我邦では斯る制度が無いからこの種の問題をもつた優秀兒の爲には特別の配慮をしてやる必要がある。

其後には課外の稽古事や勉強をやらせるのがよい。學校と同じ勉強を家でぎん／＼先の方までやつてしまふこ、一層學校での勉強が面白くなくなる。故に課外や家庭では學校の勉強と關係の無いもの、例へば繪こか音楽或は外國語等をやらすのもよい。又學校の勉強と平行して一層深く學習させる方法も適當である。新教育のやり方は大體これで、各人の能力に應じて、同じ學課目を或者は三だけ教へて、他の者には七まで、優秀な者は十まで學習出来る様に、學習計畫を樹て、各人に研究させる譯である。優秀な子供には斯の様に深い研究課題を先生が與へてくれるこよいし、それが無い場合には、家庭で課外讀物等で進んで勉強する様にすゝめるこよい。

又幼兒の場合には早教育さか、早く文字を教へる事が問題になる。智能が充分發達してゐる幼兒なら早教育をして

も子供に負擔をかけたり、過勞さす事はない。問題は早教育をするこ、學校に通ふ様になつてから學科に興味が持たなくて困る點である。

文字等は智能の優秀な子供なら教へなくこも一人で覺えてしまふ。この場合親の方から積極的に教へる必要はないが、子供が尋ねるのに對して教へる位の事はしてもよい。

但し早教育で一番問題なのは親が一生懸命になる事である。親はさうしても自分の子供を偉くしたいこの氣持が強い爲に子供の能力以上に教へる傾向がある。或は早教育をすれば平凡な子供でも優秀な子供になれるこ誤解する事が多い。一般に早教育論者は子供の素質の事を忘れて、早教育の結果子供が優秀な成績をあげたのだこ論ずる。併し早教育に耐へられるのは智能の極めて優秀な場合のみである。

尙ほ知的な親の中には自分の子供が特に發育が遅れてゐるのではないかこ餘計な心配をする人が多い。買ひかぶるのも困るが、餘り心配するのも無用な事である。斯る場合智能検査をして、正しい知識に基いて指導する事が何より大切である。

# 雜 錄

## 第二十九回 新潟縣保育大會

日時 昭和十七年十月二十四日・二十五日

會場 新潟縣長岡女子師範學校附屬幼稚園

(日程) 第一日

實地保育參觀

開 會 式

體 驗 發 表

偏食指導に就て

新發田幼稚園保母	關 川	イ チ
見附幼稚園保母	西 澤	セ ヅ
高田幼稚園保母	竹 下	キ ク
柏崎幼稚園保母	姉 崎	光 子
學校長幼稚園園長	中 山	百 代

畫 食

津上工場教育施設見學

第二日

研究發表

皇國民的性格の啓培を旨せる保育の實際

講 演

現時局下の幼児保育

東京女子高等師範學校教授 倉 橋 惣 三先生

新潟縣長岡女師  
附屬幼稚園保母

桑原きよみ

畫 食

總 會

以上

實地保育

一、會 集

二、唱歌及遊戯

行 進

レコード鑑賞

御 按 搦

聽音遊び(ハト)

宮城造拜

唱 歌

皇太神宮大麻拜禮

遊 戯

朝 の 歌

行 進

幼 兒 體 操

體力競技

三、組別保育

年長組 誘導保育・隣組遊び 年少組 觀察・落葉

建 議 案

- 一、幼稚園の經營竝に保育につき獨立の指導機關を設けられんことを其の筋に建議するの件 新潟縣保育會
- 二、市町村立幼稚園保母にも年功加俸を附與せられんことを建議するの件 新潟縣保育會



三、上履及ゴム靴を幼稚園にも配給せらるゝ様其の筋に建議するの件 西堀幼稚園

四、衛生資材(例へば石鹼、綿帶、脱脂綿、アルコール、マーキ口等)を幼稚園にも配給せらるゝ様其の筋に建議するの件 學校町幼稚園

協議題

一、大詔奉戴日の各園での御様子を御聞かせいたゞき度し 柏崎幼稚園

二、封筒利用の良き手技あらば御聞かせ願ひたし 柏崎幼稚園

三、時局で幼児の鍊成に適切なる方法 二葉幼稚園

四、幼児の團體觀念培養に適切なる方法 二葉幼稚園

五、優良保育事業視察團を派遣するの件 村上幼稚園

談話題

一、後援會の御有の幼稚園が御座いましたら其の様子を御聞かせ頂き度く尙、會則も御聞かせ頂き度し 高田幼稚園

二、冬は運動具の外にどの様な玩具をお備へになつてゐらつしやいますか、各園の御致を乞ふ 愛兒幼稚園

三、各園に於ける組編制の様様を承り度し 西堀幼稚園

四、幼児に與ふる菓子につき各園の御意見を承り度し 學校町幼稚園

五、保育材料購入につき各園の様様承り度し 學校町幼稚園

六、防空設備並に警報發令の場合の處置につき承り度し 二葉幼稚園

千葉縣教育會主催 保育會研究會

日時 昭和十七年十一月七日

會場 千葉縣女子師範學校附屬幼稚園

(順序)

一、保育實際

1、誘導保育 2、音による體育的遊び

二、主事挨拶

三、經營發表

1、經營の實際 保姆兼訓導

2、誘導保育 同

3、體育遊び 同

四、畫食

五、質疑討論

六、講師指導講話 東京女子高等師範學校教授 倉橋 惣三先生

第四十七回關西聯合保育會主催 興亞保育研究代表者會

日時 昭和十七年十一月二十二日

會場 神戸市北野國民學校

(順序)

一、湊川神社參拜

二、開會、午前九時

- 一、國民儀禮 一、開會の辭 一、勅語奉讀 一、奉答の歌 一、挨拶 一、祝辭 一、表彰 一、會務報告 一、議事

### 1、協議題

「興亞教育を旨指す皇國の幼児を如何に保育すべきか」

出題説明 神戸市保育會

意見發表 名古屋市保育會 吉備保育會

京都市保育會 堺市保育會

大阪市幼稚園保育研究會

### 2、研究發表

國民精神を基調とせる談話の研究 大阪市幼稚園保育研究會

鍊成保育の實際 吉備保育會

幼児に於ける觀察に關する二三の考案(特に自然觀察を中心とする) 京都市保育會

幼児の集團訓練に就て 堺市保育會

戦時下保姆の服装についての一考案 名古屋市保育會

幼児の體力検査に就て 神戸市保育會

### 三、閉會

一、挨拶 一、萬歳三唱 一、閉式の辭

第三回

## 東京市幼稚園保育研究發表會 開催要項

日時 十二月一日(火)午後一時半  
會場 東華幼稚園

(次第)

一、敬禮

二、國民儀禮

三、開會の辭 初等教育課長

四、挨拶 教育局長

五、發表 擔當視學

六、講評 教務掛長

七、閉會の辭

發表演

一、保健部 戦時下の幼児の身體的缺陷と其の補救法に就いて 麴町幼稚園保姆 柴田みどり

二、生活指導部 園児一日の生活基準に就いて 黒門幼稚園長 小野重内

三、音楽部 幼児の聽音遊びと其の取扱ひ方 月島幼稚園保姆 藤田ソヨ

四、觀察部 科學的遊びのいろいろ 文海幼稚園長 岩松多吉

五、談話部 幼児に適する映畫取扱の指針 月島幼稚園長 及川英雄

六、技藝部 皇軍慰問品としての作品の研究 朝海幼稚園長 向山嘉章

# 大東亞戰爭必勝完遂

## 幼児の 母



昭和十七年  
十二月

### 感謝に暮れる年

本年ももう幾日。思へば大きな一年でした。大きな戦争、大きな建設。それが皆、何んといふ有り難いことつゞきでせう。いつもは、今年も無事に過ぎてとか。いつも御無事でとかいふ挨拶が言はれる歳の暮ですが、本年の歳暮は、そんなことは言ひません。無事どころか、有事も有事、こんな大きな多事な年があつたでせうか。しかもその有事多事が、みんな有り難い結果ばかりなのです。考へて見れば、數へて見れば、ほんたうに有り難い年でした。

こんなに國のお蔭を有り難いと思ひ、國の力を有り難いと感じたことは滅多にありません。その絶大な感謝の中に、一切の個人的得手勝手は埋没されて仕舞つてゐます。この無限の感謝の中に、一切の個人的幸福も生かされてゐます。

眞の感謝から生れるものは、感激に充ちた勇氣、責任を感じる心です。子どもに、本年の感謝をよく感じさせ、新しい年の勇氣と責任とを強く起させませう。小さなお歳暮でも喜ぶ子どもです。こんな大きなお歳暮をいたゞいて、きつとよい子にならずにゐないでせう。

感謝に暮れる年。力の盛りあがる新しい年。

### 幼稚園から

大東亞戰爭下といふ、こんな大きな時代に幼稚園時代を送ることは、お子さんの一生にとつて、どんなに意義の深いことでありませう。その幼稚園の記念にお子さんの描かされた戦争畫なり、つくられた紙飛行機なり、その幾つかを今年の分として、大切に御保存になるがいゝと思ひます。昭和十七年何月と、輝しい日附をしつかりつけて置いて、あとあとの記念にしてあげませう。

○薄の幾日、おやすみの間にも、どんなに大きなニュースがあるかも知れませんが、幼稚園のある時には、きつとよく話してあげてゐます。おやすみ中は、それをお母さまにお譲りします。さうして、一月からまた始まる幼稚園の戦争のお話につゞくやうにしていただきます。地理がよく分つても分らないでも、こゝろと地圖の上に實感を補つて。

戦時家庭教育心得 (四)

— 文部省指示要項解説 —

倉橋惣三

三 母自身に

家庭教育は子どもに對することですがそれは先づ親自身が、我子の感化のもとにならなければなりません。親といつても、母の責任こそ大きいのです。

そこで、我子の家庭教育の爲に、どういふ心がけが母に大切かといふことにつき、次の六つのごとが挙げられます。

(イ) 國家觀念の涵養

家庭教育は、家庭での國民教育であることは、重ねて申すまでもありません。しかも、そのために、母自身が充分の上にも充分な、國家觀念を養つてゐなければなりません。わけても、家の生活が國家活動の源だといふことを、よく理解して、家庭教育でお國に盡す心掛をしつか

り持たなければなりません。

(ロ) 日本婦道の修練

母によつてこそ、最もしつかりした家庭教育が出来るのは、母に日本女性としての婦徳があるからです。即ち日本婦人の本來の美德として、従順、溫和、貞淑、忍耐、奉公などが具つてゐるからです。母が之れらの日本婦道を失つては、日本の家庭教育は出来ません。

(ハ) 母の自覺

家庭教育は母の責任とすれば、それが一人々々の母によく自覺せられてゐなければなりません。いくら母でも、美德の母でも、うか／＼してゐては教育は出来ません。

(ニ) 科學的教養の向上

榮養 子供向きお菜

本位 厚生省研究所 國民榮養部 佐々木理喜子

お寒い時の御馳走は、體が温まる様に油類を用ひます。配給の油を上手に用ひるには、野菜を煮込む時に先づ軽く油炒りしますと少量で、美味しく、體も温ります。

(一) 〔錦御飯〕

材料 鱒四〇瓦 油揚一〇瓦 人參三〇瓦 刻昆布少々 青菜三〇瓦 油三瓦 以上で蛋白質八六瓦一〇〇〇カロリー

作り方 鱒を茹て身をほぐし、砂糖、醬油で味付けてテンプを作りませ。此の中へ油揚を卸金ですつて加へ一緒に味付けませ。油揚は固く巻いて卸します。人參は縦切り油で炒め刻昆布と煮て淡味をつけます。青菜は細く刻んで油で炒め、鹽、砂糖で味付けませ。御飯を御辨當につめ、其の上に青菜を斜の線にのせ、兩側にでんぶ、人參を型よくのせませ。汁

今日の家庭生活でも國家生活でも、科學ほど大切なものはありません、それなのに、その教養が一般にまだ充分でないと言はれるのです。それが子どもに少ないのは、先づ母に少ないからだとも言はれてゐます。どうも、さうでないといへないようです。しつかり注意しなければなりません。

#### (ホ) 健全な趣味の涵養

科學的教養と共に、やはらか味のある趣味、それも、卑しい弱々しい趣味でなく、どこまでも健全な趣味が必要です。母に健全な趣味があつてこそ、我子の品性情操をよく養へますし、先づ以て、家庭の中を、明るく楽しくすることが出来るのです。一家が乾燥無味では、子どもにとつて、家庭の力はありません。家庭教育は、教育といつても厳しいことばかりではありません。家の生活に和樂の家庭がなくては、家庭教育になれません。それには、母自身の趣味が第一です。

#### (ハ) 強健なる母體の錬成

家庭教育は母の責任として、何んとし

ても骨の折れること、苦心の多いことで、それに耐へ得るためには母の健康が何より必要です。身體の弱い母は、自分としても、もどかしいことがさぞ多からうと思ひます、子どもの方でも、心細いことが多からうと思ひます。我が身を愛する暇もない譯でせうが、我が子のため、母の使命のためです。平生の保健衛生には細心の意を用ひて、疲れたり倒れたりしないやうにしなければなりません。

以上、家庭教育に就て、その方法をどうするかといふことの前に、先づ、日本の家の特質そのことが、家風といふもの、そのものが、それと共に、母自身が、如何に大切なことか、根本かといふことをよく考へる必要があります。この基礎があつてこそ、その上にいろ／＼の方法が行はれ、效力もあるのです。どうするか、かうするかといふことばかりでなく、もつと深いところで、家庭教育を打ち建てなくてはならない次第です。

氣の出ぬ様に御注意下さい。

#### (二) 兎肉の炒煮

材料 兎肉三〇瓦 古生姜少々 油二瓦 里芋三〇瓦 大根三〇瓦 人參二〇瓦 葛少々 以上で蛋白質八・五瓦 九五カロリ

作り方 兎肉の臭みは生姜醬油の中に一時間位浸けて抜き、次に煮る前に油でざつと周りを炒めます。里芋、大根、人參は適當に切り軟く煮込み、次に兎肉を加へてなほ煮ます。味は普通につけ、最後に水溶きの葛を加へ、煮汁をドロリとさせます。

#### (三) 「サラダ」間食代り

材料 リンゴ五〇瓦(約 $\frac{1}{2}$ 個) ミカン四〇瓦(約 $\frac{1}{2}$ 個) ビーナツパタ六瓦砂糖一〇瓦醬油少々

作り方 リンゴは縦に六つ位に切り皮を去り薄く刻み、ミカンは實をほぐします。ビーナツパタを少し水でゆるめ、砂糖と少量の醬油を加へ、リンゴを加へ、皿に盛り上にミカンのをせます。

## 十二月の衛生

醫學博士 齋藤文雄

□皆さん。大東亞戦争が起つて丁度一年目になりました。早いものです。保育報國といふ念願で只管皇國民としての吾子の育成に骨を折つて來られました皆さんの御子さん達は、果してこの一年に、ごだけ御利口になり、ごだけ立派な御身體になりましたか、かういふ仕事は非常に地味な仕事で果てしない事ではあります、年の終りに吾が家の總てが整算されると同じ様にこの際御子様方の育成の努力のあとも、一度ふり返つて見る事は、悪い事ではありません。

□物資の無い、けはしい時勢の中にあつて、よくも育て、參りましたと思ひます。然し現在の状態で満足してはゐられません。これから先き勝ち抜くためには、どんな困難にぶつゝかるかも知れませんが、それを考へますればもつともつと青報國に心をいたさなければなりません。

人。少し位無理しても平氣で押し通せる様な身體を造へておいたら、非常時に遇つてもどんなに安心して居られませう。

□これからは、どうしても「今迄丈夫であつたのを欣ぶ時代でなく、「これから丈夫であるといふ見通しを、つけなければならぬ時代です。何時くるか判らない病氣だからといつては居られませぬ。寧ろ、こちらから進んで、來ない前に追ひとばしてしまひませう。病氣の豫防、身體の積極的鍛錬、これが一番よい將來への見通しをつけて呉れます。

□扱て今月は家庭が何かと急がしく、落着かない月です。自然、家庭内の人の氣持も何となく落着きません。そのために子供の健康も兎角注意が行き届かず、軽い病氣を重くしたり、お家の中や、道路等での災害が多くなつたりいたします。火鉢を出したが、去年の金網がもう腐つて駄目になつた、櫛でも作つてやら

うと考へ乍ら、明日は、明後日は、で日数が經つ中に子供が藥罐をひつくり返して大火傷を負つた等よく聞く事です。

□北國ではもう、初雪に見舞はれた事だせう。雪が積つたら雪の上で遊ぶ工夫をいたしませう。雪など降らない暖い地方なら、猶更のこと、どしどし外で遊ばせませう。結局子供はお母様の懐より、自然の懐で遊ばせる方が丈夫になる様ですよ。冬こそ紫外線が少ない時ですから、少しでも餘計日に當てなければならぬ時です。その點から言つても外で遊ぶ事は、

□霜焼けやひびは出來易い子供があります。昨年惱ました方は、今年は始めから氣をつけませう。肝油劑をのませる、皮膚の血のめぐりを良くする、膏藥の準備もいたしませう。

□扱て一年間お小言ばかり申續しけて來ましたが私も少々申しくたびれましたからこゝらでお休みをさせていたときませう。兎に角、お母さんも、御子さんも、丈夫で暮す事、これ位明るい事はあります。家明るければ國明るいです。みんな元氣で戦争を勝ち抜きませう。

# 日本幼稚園協會編輯 幼兒の教育

會長 東京女子高等師範學校長 下村 壽一  
 主幹 東京女子高等師範學校教授 倉橋 惣三  
 附屬幼稚園主事 倉橋 惣三

## 日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ケ
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ  
 一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査  
 一、幼兒教育ニ關スル講演會及ヒ講習

- 會ノ開催  
 一、雜誌發行(毎月一回)  
 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行  
 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介  
 一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク  
 會長 一名 會務ヲ總理ス  
 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス  
 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス  
 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ス
- 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
- 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ケ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
- 第十二條 本會ハ必要ニ應ジテニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ
- 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

### 價定

一ヶ月分	金參拾五錢	特等面一頁	二等面一頁
半ヶ年分	金貳圓拾錢	金貳拾五圓	金拾五圓
一ヶ年分	金四圓拾錢	一等面一頁	以下
拾貳冊送	料共	神田區一ツ橋三ノ七品田	
拾貳冊送	料共	廣告社に御申込下さい	

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)  
 昭和十七年十二月二十八日發刊  
 昭和十七年十二月二十八日發行  
 幼兒の教育 第四十二卷 第十二號

### 不許複製 禁止轉載

編輯者 東京女子高等師範學校附屬幼稚園內 倉橋 惣三  
 印刷者 東京市本郷區駒込林町百七十二番地 柴山 則常  
 印刷所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地 杏林 舎

發行所 日本幼稚園協會  
 振替口座東京一七二六六番  
 東京市小石川區大塚町三十五  
 東京女子高等師範學校附屬幼稚園內

### 定規文注

- 一、本誌御註文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます。(郵券代用の場合には總て一割増)
- 一、御送金の場合はなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
- 一、送金の節には第何巻何月號より第何月號迄と明記せられたし。
- 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
- 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
- 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

幼児の教育 第四十二卷 第十二號

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可  
(毎月發行)

昭和十七年十一月二十八日印刷納本  
昭和十七年十二月一日發行

Ⓣ

定價參拾五錢